

取扱説明書

MODEL #500263-J
3400W デュアルフューエル
電気始動インバーター発電機



この説明書を保存してください。本取扱説明書には安全に関する重要な注意事項が記載されています。これを怠ると、重傷を負う可能性があります。この取扱説明書は製品と一緒に保管してください。
本取扱説明書に記載されている仕様、説明、イラストは、発行時点で判明しているものであり、予告なく変更される場合があります。

目次

はじめに	3	発電機バッテリー	26
安全に関する定義	3	メンテナンススケジュール	27
重要な安全上のご注意	4	保管	27
燃料の安全性	6	短期保管 (最大30日間)	27
安全ラベルとデータプレートラベル	8	中期保管 (30日~1年)	27
クイックスタートラベルの記号	9	長期保管 (1年以上)	28
コントロールと機能	10	LPGの保管	28
発電機	10	保管場所からの取り出し	28
コントロールパネル	11	仕様	29
付属部品	12	発電機の仕様	29
組み立て	13	エンジンの仕様	29
開梱	13	オイルの仕様	29
バッテリーの接続	13	燃料の仕様	29
エンジンオイルの追加	13	温度仕様	29
燃料の追加: ガソリン	14	部品図	30
燃料の追加: プロパン (LPG)	15	部品リスト	31
アース	16	エンジン部品図	33
発電機の設置場所	16	エンジン部品リスト	34
操作	17	配線図	36
発電機の設置場所	17	トラブルシューティング	37
サージ保護	17		
燃料選択スイッチ	17		
エンジンの始動: ガソリン	18		
エンジンの始動: プロパン (LPG)	20		
電気負荷の接続	22		
発電機に過負荷をかけない	22		
エコ (エコノミー) モード	22		
DC12V 車載用安定化コンセント	23		
並列運転 (米国のみ)	23		
エンジンの停止	23		
発電機の移動	24		
高地での操作	24		
メンテナンス	25		
発電機のクリーニング	25		
エンジンオイルの交換	25		
スパークプラグの清掃と調整	25		
エアフィルターの清掃	26		
スパークアレスタの清掃	26		
ガバナーの調整	26		

はじめに

この度は、Champion Power Equipment (CPE) 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。CPEは、すべての製品を厳格な仕様とガイドラインに従って設計、製造、サポートしています。適切な製品知識、安全な使用、定期的なメンテナンスにより、本製品は長年にわたり満足のいくサービスを提供することができます。

本取扱説明書に記載されている情報の正確さ、完全さには万全を期しておりますが、本製品および本書類は、事前の通知なしにいつでも変更、修正、改良する権利を有します。

CPEは、当社の製品がどのように設計、製造、操作、および保守されているか、また、操作者および発電機の周囲にいる人々に安全を提供できているかを非常に重視しています。したがって、使用前にこの製品マニュアルおよびその他の製品資料を十分に確認し、製品の組み立て、操作、危険性、メンテナンスについて十分な認識と知識を持つことが重要です。使用前に、適切な安全手順および操作手順を十分に理解し、本製品を操作する予定の他の人々にも十分に理解してもらうようにしてください。本製品を使用する際は、事故や物的損害、傷害が発生しないよう、常に常識の範囲内で慎重に行ってください。CPE製品を末永くご愛用いただき、ご満足いただけることを願っております。

CPEに部品および/またはサービスについてお問い合わせの際は、製品の完全なモデル番号およびシリアル番号をお知らせいただく必要があります。製品の銘板ラベルに記載されている情報を以下の表に転記してください。

技術サポート	
技術サポート	03-6435-9581
部品購入に関して	092-980-5028
型式	
500263-J	
シリアルナンバー	
購入日	
購入場所	

安全に関する定義

安全シンボルの目的は、起こりうる危険に注意を促すことです。安全シンボルとその説明には、十分な注意と理解が必要です。安全警告は、それ自体で危険を排除するものではありません。安全シンボルが示す指示や警告は、適切な事故防止対策の代用となるものではありません。

▲ 危険

このマークは、回避しなければ死亡または重傷に至る危険な状況を示します。

▲ 警告

このマークは、回避しなければ死亡または重傷に至る可能性のある危険な状況を示します。

▲ 注意

このマークは、この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される内容を示します。

🗨️ 注意

このマークは、危険とは関係ないが重要であると考えられる情報を示します。(物的損害に関するメッセージなど)

重要な安全上の注意

▲ 危険

発電機の排気ガスには、無色、無臭の有毒ガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸うと、吐き気、めまい、失神、または死に至ることがあります。めまいや脱力感を感じ始めたら、すぐに新鮮な空気のある場所に移動してください。

発電機は、屋外の換気の良い場所でのみ操作してください。屋外では、換気の良い場所で排気を行います。

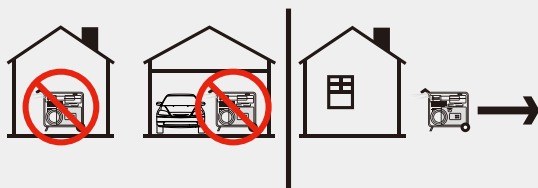
屋内では、絶対に発電機を操作しないでください。車庫、地下室、納戸、小屋、囲いのある建物の内部で発電機を運転しないでください。キャンピングカー等を含む、いかなる建物内でも発電機を運転しないでください。排気ガスを、窓、ドア、換気口、その他の閉め切った場所から排気ガスが入らないようにしてください。

▲ 危険

室内で発電機を使用すると、数分で死に至る可能性があります。発電機の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。これは目に見えず、匂いもしない毒です。

ドアや窓が開いていても、家やガレージの中では絶対に使用しないでください。

必ず屋外で、窓、ドア、換気口から離れた場所で使用してください。



電池式の一酸化炭素警報器、または電池バックアップ付きのプラグイン式一酸化炭素警報器をメーカーの指示に従って設置してください。

▲ 警告

発電機にはスパークアレスタ（火花防止装置）が内蔵されていますが、火災を防止するため、乾燥した草木から最低1.5mの距離を保ってください。

▲ 危険

装置を操作する際は、ガードを取り付けてください。回転する部品が手、足、髪、衣服および / またはアクセサリに絡まる可能性があります。外傷性切断または重度の裂傷に至る可能性があります。

回転部分に手や足を近づけないでください。長い髪は束ね、アクセサリは外してください。ゆったりした衣服、ぶら下がったひも、引っかかる恐れのあるものを身につけないでください。

▲ 危険

発電機は強力な電圧を発生させます。

裸のワイヤーやレセプタクルに触れないでください。摩耗、損傷、ほつれのある電気コードは使用しないでください。

雨天時に発電機を操作しないでください。

子供や資格のない人に発電機の操作や修理をさせないでください。

湿気の多い場所や、金属デッキのような導電性物質を含む場所では、漏電遮断器 (ELCB) を使用してください。発電機をご家庭の電気系統に接続するには、電気工事士の資格を持ち、管轄する地方自治体によって認可された30Aトランスファースイッチが必要です。接続は、発電機を商用電源から切り離し、適用されるすべての法律と電気規則に準拠する必要があります。

▲ 警告

発電機を医療や生命維持のために使用しないでください。

緊急の場合は、すぐに119に電話してください。本製品を生命維持装置や生命維持器具の電源として使用しないでください。

本製品を医療機器や医療器具の電源として使用しないでください。

あなたやあなたのご家庭で電気機器に依存して生活している人がいる場合は、直ちに電気供給者に連絡してください。停電により、ご本人またはご家族の誰かが医療上の緊急事態に陥った場合は、直ちに電気供給者に連絡してください。

▲ 警告

取り外したスパークプラグワイヤーから火花が生じ、火災や感電の原因となることがあります。

発電機を整備する場合：

スパークプラグワイヤーを外し、プラグや他の金属物に接触しない場所に置きます。

プラグを取り外した状態で火花を確認しないでください。承認されたスパークプラグテスターのみを使用してください。

▲ 警告

運転中のエンジンは熱を発生します。接触すると重度の火傷を負う恐れがあります。可燃物は接触すると発火する恐れがあります。

高温の表面には触れないでください。

高温の排気ガスに触れないでください。

触れる前に機器を冷ましてください。

十分な冷却を確保するため、四方に少なくとも91.4cm(3フィート)の空間を確保してください。

可燃性の材料から少なくとも1.5m(5フィート)の空間を確保してください。

▲ 警告

リコイルコードが急激に引き込む際、手や腕がエンジンの方に引っ張られ、手を放すよりも早く引き込まれます。その際、骨折、打撲、捻挫の恐れがあります。意図せずに始動すると、もつれ、外傷性切断、裂傷に至る可能性があります。

エンジンを始動するときは、抵抗が感じられるまでリコイルコードをゆっくり引き、キックバックを避けるために素早く引いてください。

電気機器のプラグが接続され、電源が入っている状態でエンジンの始動や停止を行わないでください。

▲ 注意

発電機の運転容量を超えると、発電機やそれに接続された電気機器に損傷を与える可能性があります。

発電機に過負荷をかけないでください。

ガバナ回転数を変更しないでください。いかなる方法でも発電機を改造しないでください。

▲ 注意

発電機を始動し、エンジンが安定してから電気負荷を接続します。

電気機器をオフの位置で接続し、操作のためにそれらをオンにします。

発電機を停止する前に、電気機器の電源を切り、接続を外します。

▲ 注意

発電機の不適切な処理や使用は、発電機を損傷し、寿命を縮めたり、保証を無効にする可能性があります。

発電機は、意図された用途にのみ使用してください。

平らな場所でのみ操作してください。

発電機を過度の湿気、ほこり、汚れにさらさないでください。

冷却スロットを塞ぐものを置かないでください。

接続されたデバイスが過熱した場合は、デバイスの電源を切り、発電機から取り外してください。

以下の場合、発電機を使用しないでください：

- 電気出力が失われる。
- 機器が火花を散らす、煙が出る、または炎を発する。
- 装置が過度に振動する。

燃料の安全性

⚠ 危険

ガソリン、ガソリンの蒸気、プロパン (LPガス) は非常に可燃性が高く、爆発する性質があります。

火災や爆発により、重度の火傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。

ガソリンおよびガソリン蒸気:

- ・ガソリンは非常に可燃性が高く、爆発する性質があります。
- ・ガソリンに引火すると、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
- ・ガソリンは液体燃料ですが、その蒸気に引火することがあります。
- ・ガソリンは皮膚を刺激するため、皮膚や衣服にこぼれた場合は、直ちに洗浄する必要があります。
- ・ガソリンには特有の臭いがあり、漏れの可能性を素早く発見するのに役立ちます。
- ・石油ガス火災では、燃料供給バルブをオフにしない限り、炎を消さないでください。消火しても燃料の供給が止められなければ、爆発の危険が生じます。
- ・ガソリンは周囲温度によって膨張または収縮します。気温が上昇するとガソリンが膨張するため、絶対にガソリンを満タンにしないでください

⚠ 警告

プロパン/LPG (液化石油ガス) およびLPG蒸気:

- ・LPGは非常に可燃性が高く、爆発しやすい性質があります。
- ・LPGには圧力がかかっており、引火すると火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
- ・LPGは空気より重く、消散しながら低い場所に沈殿することがあります。
- ・LPGには、潜在的な漏れを素早く発見するのに役立つ独特の臭いが付加されています。
- ・ガス漏れが発見された場合は、直ちにガスの供給を止めてください。
- ・石油ガス火災では、燃料供給バルブがオフになっていない限り、炎を消さないでください。消火しても燃料の供給が止められなければ、爆発の危険が生じる可能性があります。
- ・LPGボンベは必ず直立した状態で保管してください。
- ・LPGは皮膚刺激性があり、凍傷に似た重度の低温火傷を引き起こす可能性があります。
- ・プロパンボンベへの接続およびプロパンボンベからの取り外しの際は、必ず適切な保護手袋を着用してください。
- ・LPGは、火花、裸火、パイロットランプ、熱、その他の着火源から常に遠ざけてください。

⚠ 警告

ガソリンを入れる、または抜くとき:

タバコに火をつけたり吸ったりしないでください。給油前には必ずエンジンを停止し、最低2分間冷まします。ガソリンキャップは必ずゆっくりと緩め、タンク内の圧力を逃がしてください。ガソリンキャップの周囲から燃料が漏れないようにしてください。給油後は、必ずガソリンキャップを取り付け、しっかりと締めてください。エンジンがかかっている時やエンジンが熱い時は、絶対にガソリンキャップを外したり、ガソリンを入れたりしないでください。ガソリンの給油や排出は、屋外の換気の良い場所で行ってください。ガソリンスタンドで発電機に直接ガソリンを入れないでください。必ず認可された容器にガソリンを保管するか、ガソリンを発電機に移し替えてください。ガソリンを入れ過ぎないでください。ガソリン、プロパン、天然ガスの蒸気を、火花、裸火、口火、火花、熱、その他の着火源に近づけないでください。

⚠ 警告**発電機を始動する場合：**

損傷した発電機を始動させないでください。
ガソリンキャップ、エアフィルター、スパークプラグ、フューエルライン、排気装置が適切に設置されていることを必ず確認してください。
エンジンを始動しようとする前に、こぼれたガソリンを必ず完全に蒸発させてください。
LPG燃料を使用する前には、必ず供給ホースの接続部に漏れがないか点検してください。
発電機が平らな地面にしっかりと置かれていることを常に確認してください。

⚠ 警告**発電機を操作する場合：**

運転中に発電機を動かしたり、傾けたりしないでください。

⚠ 警告**発電機を輸送または整備する場合：**

常に火花、裸火、口火、熱、その他の着火源から離れた場所に保管してください。
発電機、ガソリンまたはLPGポンベを、炉、湯沸かし器、熱を発生したり、自動点火のあるその他の電気器具の近くに保管しないでください。

⚠ 警告**発電機を保管する場合：**

常に火花、裸火、口火、熱、その他の着火源から離れた場所に保管してください。
発電機、ガソリンまたはLPGポンベを、炉、湯沸かし器、熱を発生したり、自動点火のあるその他の電気器具の近くに保管しないでください。

⚠ 危険

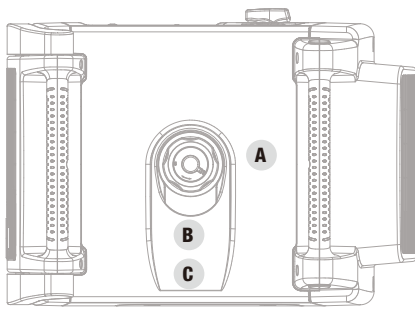
エンジンの運転中は、絶対にガソリン容器、ガソリンタンク、LPGポンベまたは可燃物を排気経路に置かないでください。

⚠ 警告

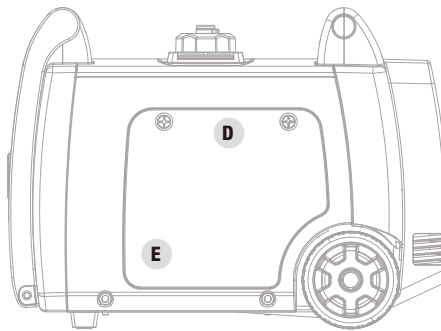
ガソリン容器、ガソリンタンク、LPGコネクターホース、LPGポンベ、その他の燃料器具については、壊れたり、切れたり、裂けたり、損傷しているものは絶対に使用しないでください。

安全ラベルとデータプレートラベル

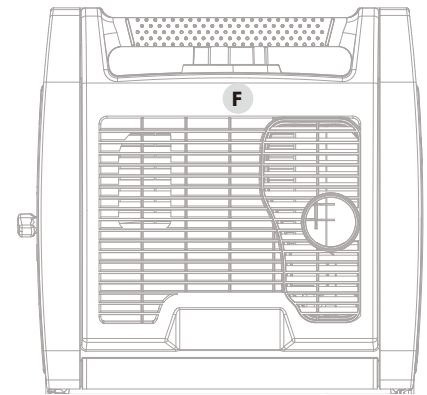
これらのラベルは、重大な人身事故を引き起こす可能性のある潜在的な危険について警告しています。注意深くお読みください。ラベルがはがれたり、読みにくくなった場合は、技術サポートまでご連絡ください。



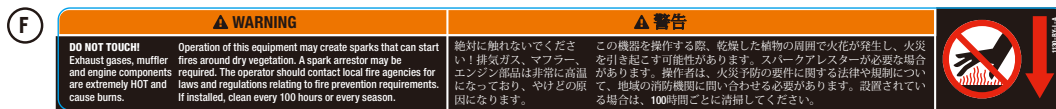
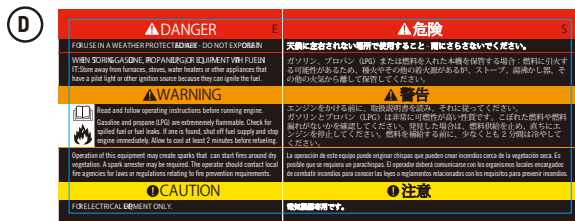
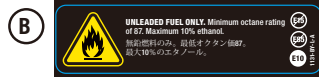
上部



背面

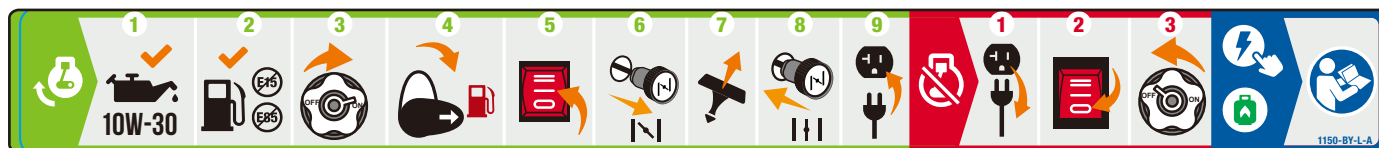


側面



クイックスタートラベルの記号

本製品には、以下のような記号が使用されている場合があります。これらの記号の意味をよく理解してください。これらの記号を正しく理解することで、より安全に製品を操作することができます。



エンジンの始動

⚠ 危険

発電機を屋外に移動し、窓から遠ざけ、ドアや吸気口から離してください。

1. オイルレベルを点検します。
推奨オイルは10W-30です。
2. ガソリンレベルを点検します。
ガソリンを入れる場合は、オクタン価87、およびエタノール含有量が10%以下のものを使用してください。
3. 燃料キャップベントレバーを「ON」の位置に回します。
4. 燃料選択スイッチを「水平」の位置に回します。
5. イグニッションスイッチを「ON」位置に押します。
6. チョークノブを「CHOKE」位置に引きます。
7. リコイルを引いてエンジンを始動します。
8. チョークノブを「RUN」の位置に押します。
9. 希望する機器のプラグを差し込みます。

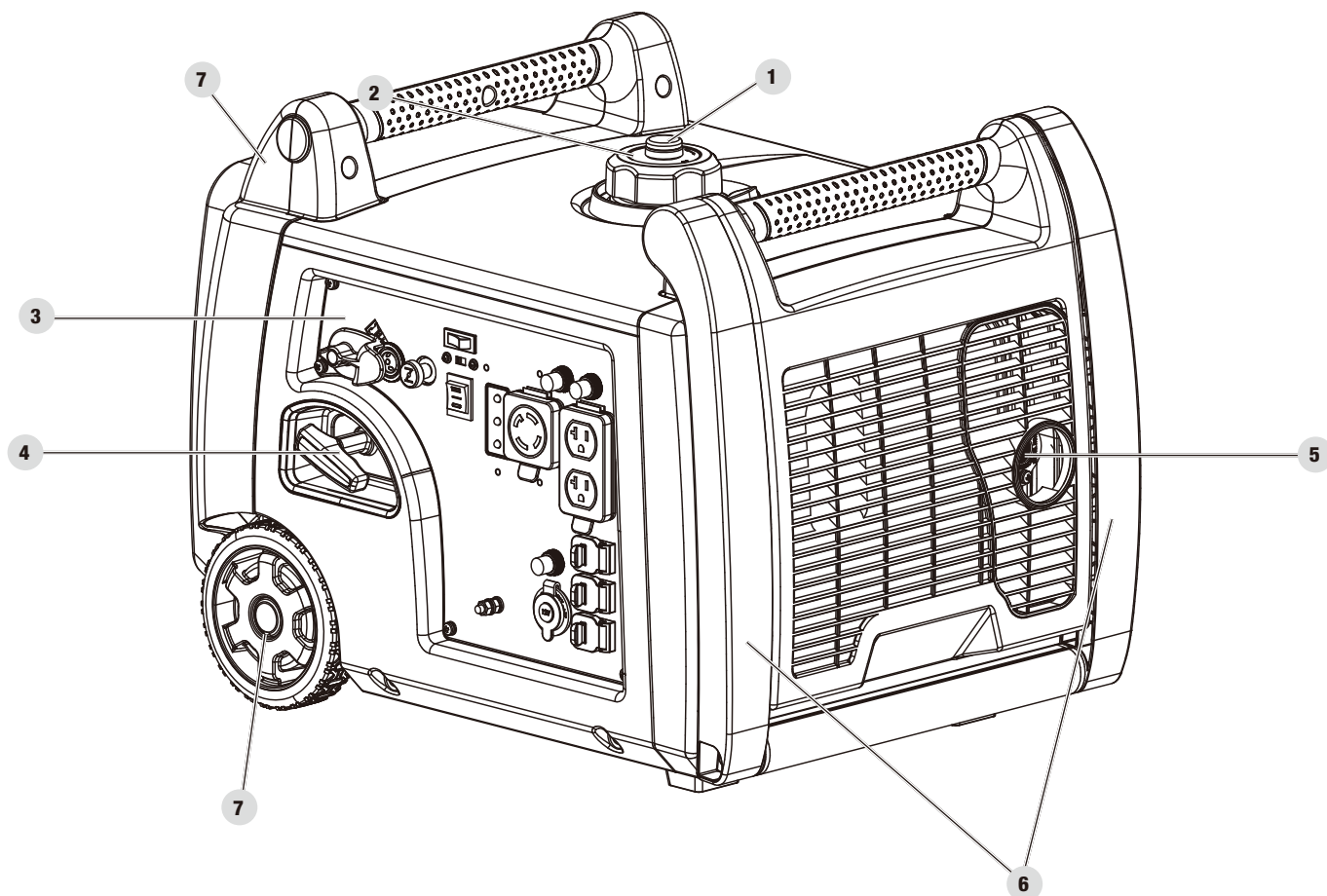
エンジンの停止

1. 接続されているすべての電気負荷をオフにし、プラグを抜いてください。
2. イグニッションスイッチを「OFF」位置に押します。
3. 燃料キャップベントレバーを「OFF」位置に回します。LPGでの燃料の追加とエンジンの始動については「燃料の追加」/「組立」の項のプロパン (LPG) および「エンジンの始動」/「操作」セクションのプロパン (LPG) を参照してください。電気始動については「操作」セクションの「エンジンの始動」の項を参照してください。

コントロールと機能

発電機を操作する前に、この取扱説明書をお読みください。制御装置や機能の場所と機能をよく理解してください。将来参照するために、この取扱説明書を保存してください。

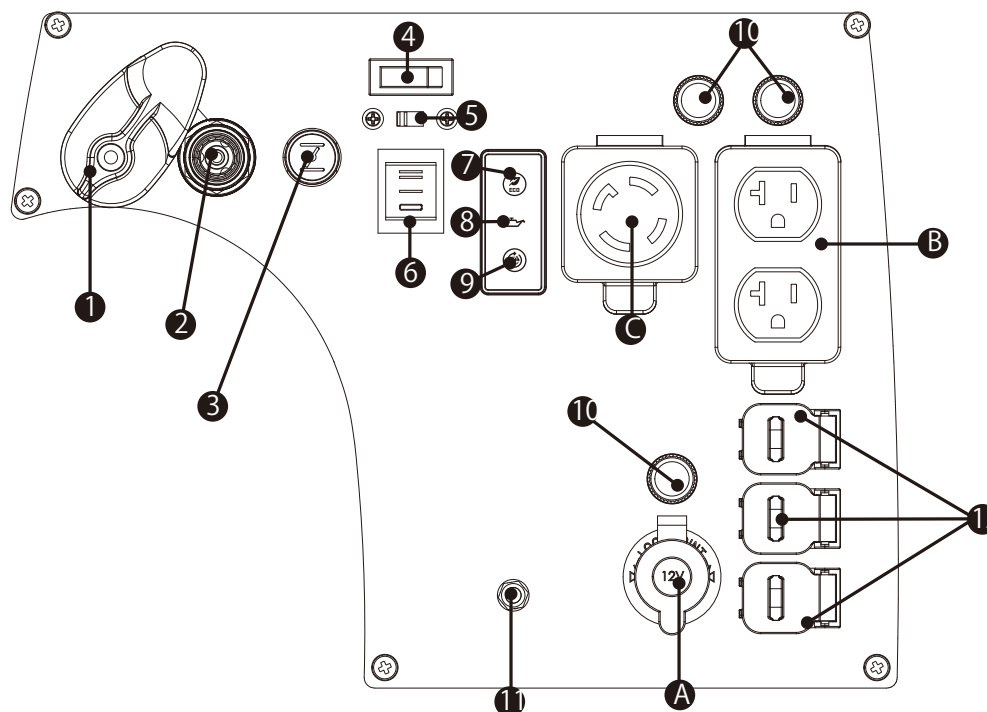
発電機



1. **燃料レバーベント**—このバルブを「オン」位置に回して、タンクに空気を供給します。
2. **フューエルキャップ**—燃料を入れるために取り外します。
3. **コントロールパネル**—コントロールパネルの項を参照
4. **リコイルスターター**—手でエンジンを始動するときに使用します。

5. **マフラー**
6. **折りたたみ式ハンドル**—本機を吊り上げたり運んだりするために使用しないでください。
7. **パンクしないホイール**

コントロールパネル



1. **燃料選択スイッチ** - ガソリンまたはLPGを選択し、オンにするために使用します。
2. **LPGホースクイックコネクティンレット**
3. **チョーク**
4. **バッテリースイッチ**
5. **50/60Hz周波数切り替えスイッチ**
6. **イグニッションスイッチ**-発電機の始動または停止に使用します。プロパンで運転する場合、このスイッチはエンジンを停止しません。
7. **エコモードボタン**-自動アイドル制御の有効/無効を切り替えます。
8. **オイル低下警告表示灯**-点灯するとエンジンは停止し、作動しません。オイルレベルを点検してください。
9. **AC過負荷リセットボタン**-過負荷故障後にコンセントに再通電するために使用します。
10. **サーキットブレーカー (プッシュリセット)** - 電氣的過負荷から発電機を保護します。
11. **アース端子** - 地域の接地規制については、電気技術者にご相談ください。
12. **並列コンセント** - 並列運転に使用します (並列キット 別売: 米国のみ)。

コンセント

A		DC12V、8A (自動車用) DC12V、8Aの電気負荷の操作に電力を供給するために使用できます。
C		(2×) AC100V、20A 5-20R AC100V、20A、単相、50/60Hzの電気負荷の操作に電力を供給するために使用できます。
B		200V AC、15.5A L15-30R AC200V、15.5A、単相、50/60Hzの電気負荷の操作に電力を供給するために使用できます。

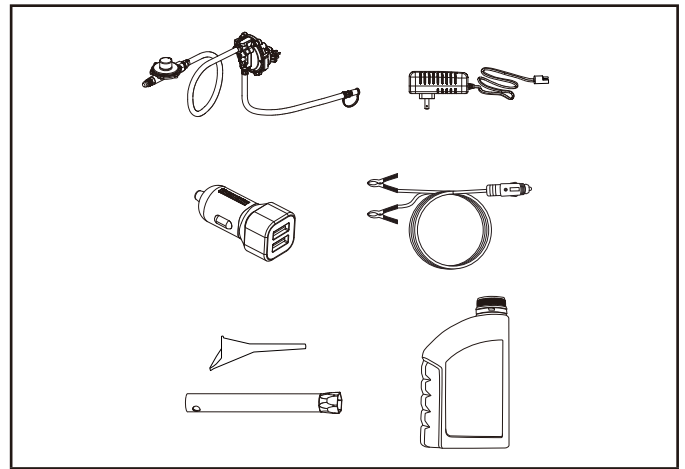
⚠ 警告

機器を充電する際は、発電機の排気側に置かないでください。排気による極端な熱はデバイスを損傷し、火災を引き起こす可能性があります。エンジンの排気に長時間さらされると、重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。

付属部品

アクセサリ

レギュレーター付き LPG ホース.....	1
AC12V スマートチャージャー.....	1
DC12VUSBアダプター.....	1
バッテリー充電用ケーブル.....	1
エンジンオイル	1
オイル用じょうご	1
スパークプラグソケット.....	1



組み立て

発電機は組み立てが必要です。本機は、オイルなしで工場から出荷されます。運転前に、燃料とオイルを適切に注入する必要があります。

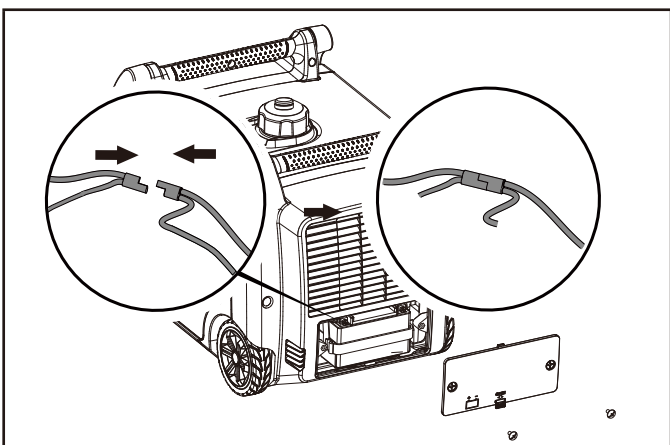
発電機の組み立てに関してご不明な点がございましたら、サポートまでご連絡ください。その際シリアル番号と型番をご用意ください。

開梱

1. 出荷用梱包箱をしっかりとした平らな場所に置きます。
2. 発電機以外のすべてを箱から取り出します。
3. 本機の持ち運び用ハンドルを使って、発電機を箱から慎重に取り外します。(2人で持ち上げることをお勧めします)。

バッテリーの接続

1. ドライバーを使用して、バッテリーメンテナンスカバーから2つのネジを取り外します。
2. ネジを外したら、バッテリーケーブルを引き抜きます。
3. バッテリーケーブルを束ねているケーブルタイを切ります。
4. バッテリーコネクタの2つの半分を強く押し合わせます。
5. メンテナンスカバーを再び取り付けます。



エンジンオイルの追加

⚠ 警告

推奨される種類と量のオイルが適切に充填される前に、エンジンをクランキングまたは始動しないでください。これらの指示に従わなかった結果、発電機が損傷した場合、保証は無効になります。

🗨 注意

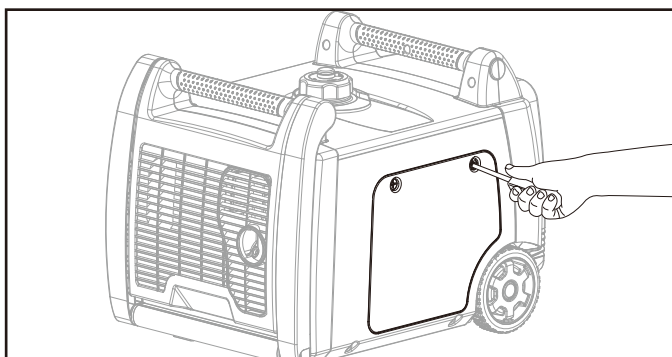
発電機のローターには、密封された潤滑済みボールベアリングが搭載されています。ベアリングの寿命まで追加潤滑は不要です。

🗨 注意

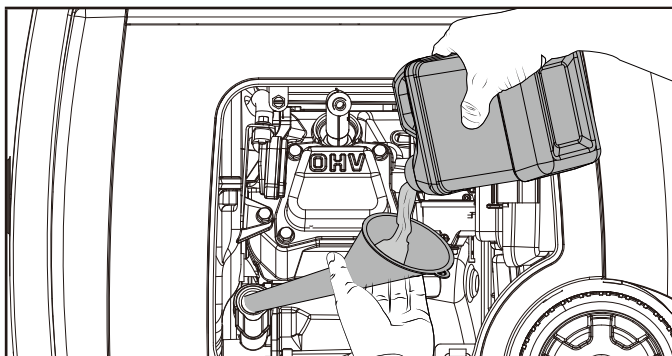
一般的な使用に推奨される油種は自動車用オイル10W-30です。ただし、「推奨エンジンオイルの種類」の表に記載されている従来型オイルを使用することができます。エンジンの慣らし運転期間の最初の5時間を含め、一般的な使用には、「推奨エンジンオイルの種類」の表に記載されている従来型オイルを使用することができます。極端な温度で発電機を運転する場合は、「推奨エンジンオイルの種類」の表を参照してください。

推奨エンジンオイルの種類	
	10W-30
	5W-30
	10W-40
	5W-30 フルシンセティック
°F	-20 0 20 40 60 80 100 120
°C	-28.9 -17.8 -6.7 4.4 15.6 26.7 37.8 48.9
周囲温度	

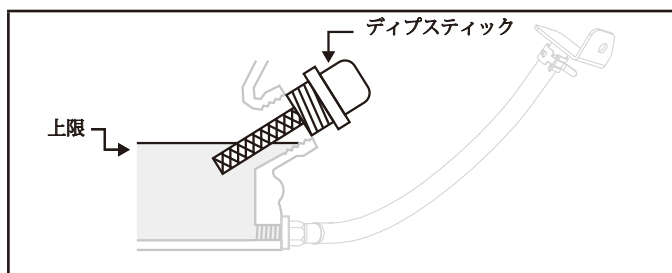
1. 発電機を平らで水平な場所に置きます。
2. メンテナンスカバーのネジを緩め、カバーを取り外します。



3. オイルを入れるには、オイルフィルキャップ/ディップスティックを取り外します。
4. 漏斗を使用して、最大600mlのオイル(付属)を追加します。入れ過ぎないでください。オイルフィルキャップ/ディップスティックを元に戻し、メンテナンスカバーを固定します。



5. 使用するたびにエンジンオイルのレベルを確認し、必要に応じて補充してください。



注意

オイルを入れた際、目視点検では、オイルが充填穴から1-2目盛ほど余裕があります。
ディプスティックを使ってオイルレベルを点検する場合、点検中にディプスティックをねじ込まないでください。

注意

慣らし運転期間中は、オイルレベルを頻繁に点検してください。推奨整備間隔については、「メンテナンス」の章を参照してください。

注意

このエンジンにはオイル低下防止装置が装備されており、クランクケース内のオイルレベルが閾値を下回ると停止します。

注意

最初の5時間は本機の慣らし運転です。慣らし運転期間中は、定格ワット数の50%以下にとどめ、時々負荷を変化させてスターターの巻線の加熱と冷却を行います。また、負荷を調整することで、エンジン回転数がわずかに変化し、ピストンリングの座りが良くなります。5時間の慣らし運転の後、オイルを交換してください。

注意

化学合成油は、5時間の初期慣らし運転の後でも使用できます。化学合成油を使用しても、推奨オイル交換間隔は短くなりません。完全合成の5W-30オイルは、周囲温度が5°C未満の寒冷時に始動性を向上させます。

燃料の追加: ガソリン

▲ 危険

ガソリンの蒸気は非常に可燃性が高く、非常に爆発しやすい性質を持っています。

ガソリンの蒸気は非常に可燃性が高く、非常に爆発しやすい性質を持っています。タバコに火をつけたり、吸ったりしないでください。火災や爆発により重度の火傷または死亡事故を引き起こす恐れがあります。

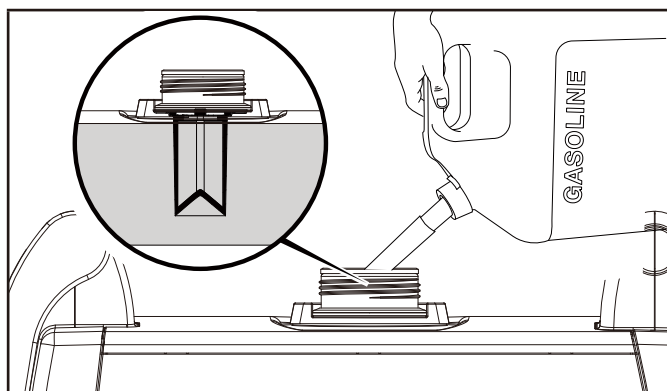
燃料の充填や排出は、屋外の換気の良い場所で行ってください。発電機に直接ガソリンを入れないでください。燃料を発電機に移すには、認可された容器を使用してください。

破損、切断、ひび割れなど損傷があるガソリン容器、その他の燃料タンクは絶対に使用しないでください。

ガソリン容器に燃料を入れ過ぎないでください。燃料は常に火花、裸火、種火、熱源、その他の着火源から燃料を遠ざけてください。

オクタン価が87以上で、エタノールの含有量が容積比10%以下の、きれいで新しい無鉛レギュラーガソリンを使用してください。ガソリンにオイルを混ぜないでください。

1. ガソリンキャップを外します。
2. タンクにゆっくりとガソリンを入れます。ガソリンが画面上の赤丸に達すれば満タンです。ガソリンを入れ過ぎないでください。ガソリンは膨張するため、タンク内に最低 6.4mm 以上空けることを推奨します。ガソリンを入れ過ぎると、膨張の結果ガソリンがタンクから押し出され、発電機の安定した運転状態に影響を与える可能性があります。



3. ガソリンキャップを締め、こぼれた燃料を拭き取ります。

▲ 注意

オクタン価87以上の無鉛ガソリンを使用してください。エタノールの含有量が10%以下の無鉛ガソリンを使用してください。

ガソリンを入れる時にタバコに火をつけたり、タバコを吸ったりしないでください。

オイルとガソリンを混ぜないでください。

タンクを満タンにし過ぎないでください。

ガソリンは膨張するため、タンク上端から約6.4mm下の位置まで給油してください。

ポンプで直接発電機にガソリンを注入しないでください。ガソリンを発電機に移すには、認可された燃料容器を使用してください。

室内でガソリンを充填しないでください。

エンジンが作動中または高温の状態ではタンクにガソリンを入れないでください。

▲ 警告

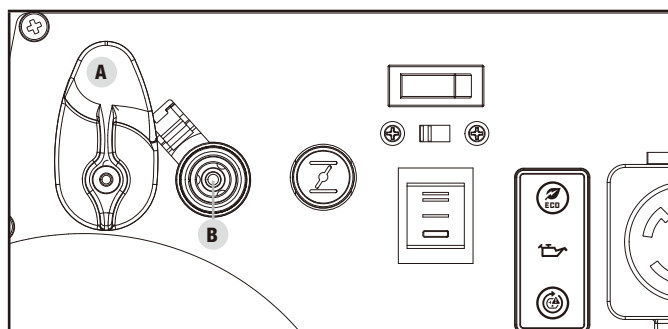
燃料スクリーンを通してガソリンを注ぐ際、注入の速度が速すぎると発電機と作業者にガソリンが飛び散る恐れがあります。

🗨️ 注意

発電機エンジンは、10%以下のエタノール混合ガソリンで十分に機能します。エタノールとガソリンの混合ガソリンを使用する場合、以下の点に注意する必要があります：

- ・エタノールとガソリンの混合ガソリンは、ガソリン単体よりも多くの水を吸収する可能性があります。
- ・これらの混合ガソリンは最終的に分離し、タンク、燃料バルブ、キャブレターに水や粘着質の物質が残ります。汚染されたガソリンはキャブレターに引き込まれ、エンジンの損傷や潜在的な危険を引き起こす可能性があります。
- ・燃料安定剤を使用する場合は、それがエタノールとガソリンの混合燃料に対応するよう調合されていることを確認してください。
- ・不適切なガソリンの使用、不適切なガソリンの保管、不適切に調合された安定剤の使用によって生じた損傷や危険は、メーカーの保証対象外となります。

使用後は、必ずガソリンの供給を止め、エンジンを空の状態まで回転させることをお勧めします。「保管」セクションを参照してください。



1. インバーターの燃料選択スイッチが12時(垂直)の位置にあることを確認してください。(A)
2. 指を使って、LPGクイックコネクトホース継手(B)の外筒を後ろにスライドさせます。クイックコネクトホース継手(B)を戻します。
3. 外筒を戻した状態で、LPGホース(付属品)をインレットに挿入し、外筒を放します。外筒は自動的に戻り、ホースをインレットにロックします。
4. シリンダーバルブから安全プラグまたはキャップを取り外します。
5. ホースのもう一方の端をLPGシリンダーに取り付け、手で締めます。
6. 石けんと水の溶液でフィッティングを濡らし、すべての接続部に漏れがないか確認します。泡が出たり、泡が大きくなったりする場合は、漏れがあることを示しています。継手から漏れがある場合は、タンクのガス栓を閉め、継手を締めてください。ガス栓を再び開き、石けん水溶液でフィッティングを再度確認します。ガス漏れが続く場合、またはガス漏れがをしているが取り付け金具からではない場合は、発電機を使用せず、購入店にご連絡ください。

🗨️ 注意

7. 本機に付属しているLPGホースは、標準的LPGボンベに対応しています。
8. ボンベの再確認日が切れていないことを確認してください。
9. すべての新しいボンベは、充填前に空気と湿気を抜く必要があります。栓をしていない、または閉じたままになっている使用済みボンベもパーズする必要があります。
10. パーズはLPG供給業者が行ってください。(交換業者から提供されたボンベは、既にパーズされ、適切に充填されているはずです)。
11. シリンダーバルブと発電機インレット間の接続によって、LPGホースに鋭利な曲がりやよじれを生じさせないようにLPGを配置してください。

燃料の追加：プロパン (LPG)**LPGボンベの接続****▲ 注意**

子供がLPGボンベやホースの接続部をいじったり、遊んだりしないようにしてください。

▲ 注意

OPD (過充填防止装置) バルブが装備された、承認されたLPGボンベを使用してください。ボンベは必ずバルブを上にして垂直にし、平らな場所に設置してください。ボンベは熱源の近くに設置せず、日光、雨、ほこりにさらさないでください。輸送や保管の際は、ボンベのバルブと発電機のLPGバルブをオフにし、ボンベを取り外します。プラスチック製の保護キャップがある場合は、コンセントを塞いでください。ボンベは熱から遠ざけ、車内は換気してください。

▲ 警告

LPGの強い臭いがする場合は、ボンベのバルブを閉めてください。石鹼と水の溶液でフィッティングを濡らし、すべての接続部に漏れがないかチェックしてください。気泡が現れたり、気泡が大きくなった場合は、漏れがあることを示しています。タバコを吸ったり、火をつけたり、マッチ、裸火、ライターを使用して漏れを確認しないでください。漏れがある場合は、有資格の技術者に連絡し、漏れが見つかった場合は、発電機を使用する前に、LPGシステムの点検と修理を行う資格を持った技術者に連絡してください。

アース

感電を防ぐため、発電機は適切なアースに接続する必要があります。

▲ 警告

発電機を適切に接地しないと、感電する恐れがあります。

発電機のパネルに接続されたアース端子が用意されています(端子の位置については「制御と機能」を参照)。リモート接地の場合、発電機のアース端子と地面に打ち込んだ銅棒の間に、太いゲージ(最低12 AWG)の銅線を接続します。地域の電気規範に準拠していることを確認するため、資格を有する電気技師に相談することを強くお勧めします。

ニュートラルフローティング*

- ニュートラル回路は、発電機のフレーム/グランドに電氣的に接続されていません。
- 発電機(固定子巻線)は、フレームおよびACコンセントのアースピンから絶縁されています。
- アースピンの設置を必要とする電気機器は、コンセントのアースピンが機能していないと、稼働しません。

フレームに接着されたニュートラル回路*

- ニュートラル回路は、発電機のフレーム/グランドに電氣的に接続されています。

- 発電機システムのアースは、オルタネーター下部のクロスメンバーフレームに接続されています。システムグラウンドはACニュートラルワイヤーに接続されています。

*「仕様」のセクションをご参照ください。

発電機の設置場所**▲ 警告**

建物、ガレージ、地下室、物置、囲い、または区画の中では、絶対に発電機を操作しないでください。

地下室、狭い場所、物置、囲い、またはコンパートメント内では、絶対に発電機を操作しないでください。レクリエーション用車両の発電機コンパートメントを含みます。

SUV、キャンピングカー、トレーラー、トラックの荷台(通常の側面、平らな側面、またはその他の構成)、階段の下、吹き抜けの下、壁や建物に隣接した場所など、発電機の適切な冷却が出来ない場所、またはマフラーシステムからの排気の適切な出口を確保できない場所、排気の流れが適切に出ないような場所では絶対に発電機を運転または始動しないでください。

雨や雪などの濡れた天候の下で発電機を運転したり、保管したりしないでください。濡れた状態で発電機を使用すると、感電による重大な人身事故や死亡事故を招く恐れがあります。地域の法令によっては、発電機を建設現場で使用する場合があります。その地域の電力会社への登録が義務付けられている場合があります。また、追加の規則や規制が適用される場合があります。

ご使用の地域の法令をご確認ください。

発電機は常に平らな場所で操作してください。

発電機は、常に(運転中でなくても)平らで水平な場所で運転する必要があります。

発電機は、すべての可燃物から最低1.5mの空間を確保する必要があります。また、発電機の四方には、最低91.4cmの空間を確保する必要があります。

発電機は必ず換気の良い場所に設置してください。吸気口の近くや、排気ガスが居住空間や密閉された空間に流れ込む恐れのある場所には、絶対に発電機を置かないでください。排気ガスが居住空間や閉め切った空間に流れ込む恐れがあります。

発電機を設置する際は、必ず風や気流を考慮してください。輸送や保管の前には、必ず発電機を適切に冷却してください。

適切な安全予防措置に従わない場合、人身事故や発電機の損傷が発生してもメーカー保証が無効になります。

▲ 警告

運転中、マフラーと排気ガスは高温になります。十分な冷却および呼吸スペースが確保されていない場合、または発電機が塞がれていたり密閉されている場合、温度が非常に高くなり、火災につながる恐れがあります。

▲ 警告

雨にさらしたり、湿気の多い場所で使用しないでください。周囲のものを発電機から最低1.5m離してください。マフラーの表面と排気ガスの流れからの熱は、可燃物を発火させる可能性があります。

▲ 警告

雨や湿気の多い場所で使用する必要がある場合は、電気部品を適切に保護してください。

難燃性の安全キャノピーを使用することでエンジンの排気ガスに適切な換気を提供することが出来ます。

操作**発電機の設置場所**

車庫、地下室、床下、物置を含む建物内(レクリエーション用車両の発電機コンパートメントを含む)では、絶対に発電機を操作しないでください。

地域によっては、発電機を地域の電力会社に登録する必要があります。その場合、最寄りの地方自治体にご相談ください。

建設現場で使用される発電機には、追加の規則や規制が適用される場合があります。発電機は、常に平らで水平な場所に設置してください。(運転中でない場合も含みます)発電機は、すべての可燃物から少なくとも1.5mの空間を確保してください。

加えて、発電機は、適切な冷却、メンテナンス、整備ができるように、すべての側面に少なくとも91.4cmの空間が必要です。発電機は、SUV、キャンピングカー、トレーラーの荷台、トラックの荷台(普通、平置き、その他)、階段や吹き抜けの下、壁や建物の横、その他発電機やマフラーを十分に冷却できないような場所では、決して始動または運転しないでください。運転中に発電機を格納しないでください。

輸送や保管の前に、発電機を適切に冷却してください。

発電機は、換気の良い場所に設置してください。発電機は、排気ガスが居住空間や閉め切られた空間に流れ込む恐れのある換気口や吸気口の近くに置かないでください。発電機を設置する際は、風や気流を十分に考慮してください。

適切な安全予防措置に従わない場合、メーカーの保証が無効になる場合があります。

▲ 警告

雨、雪、湿気のある場所で発電機を操作したり、保管したりしないでください。

雨や雪などで濡れた状態、プールやスプリンクラーの近く、手が濡れている状態で発電機や電気器具を使用すると、感電死する恐れがあります。

▲ 警告

運転中、マフラーと排気ガスは高温になります。十分な冷却および換気スペースが確保されていない場合、または発電機が塞がれていたり密閉されている場合、温度が非常に高くなり、火災につながる恐れがあります。

サージ保護

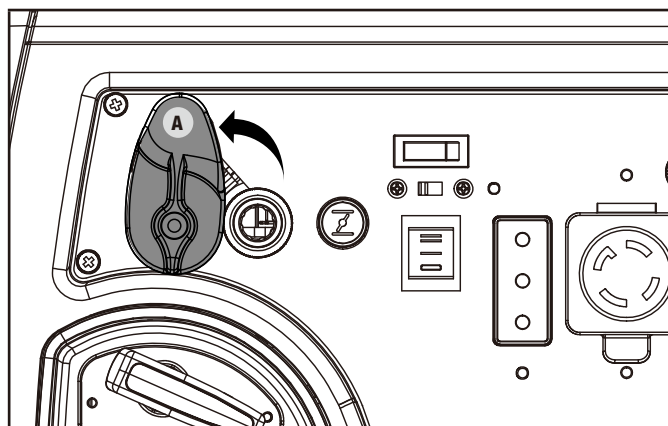
コンピュータや多くのプログラムが可能な家電製品を含む電子機器には、狭い電圧範囲で動作するように設計された部品が使用されており、瞬間的な電圧変動の影響を受ける可能性があります。電圧変動を防ぐ方法はありませんが、敏感な電子機器を保護する手段を講じることはできます。

・UL1449、CSAの認定を受けたプラグインサージ保護機器を、敏感な機器に給電するコンセントに取り付けてください。サージ保護機器には、単一コンセント型と複数コンセント型があります。これらは、短時間電圧変動から保護するように設計されています。

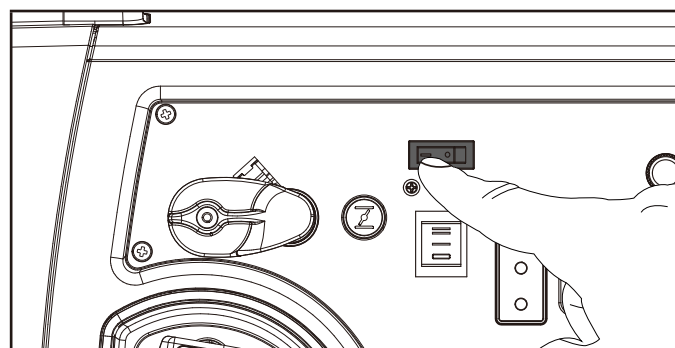
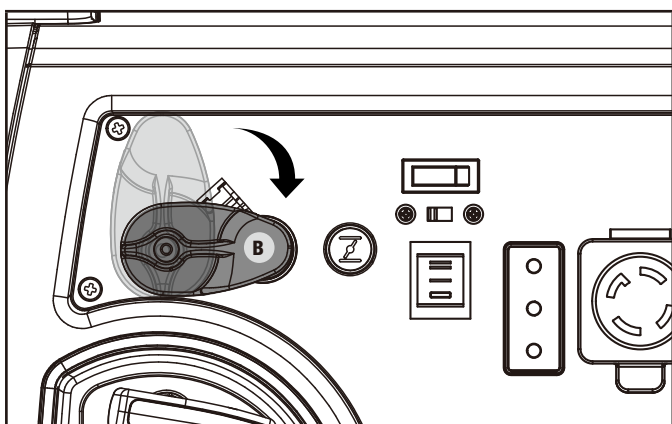
燃料選択スイッチ

発電機の前面パネルにある燃料選択スイッチは、ガソリンまたはプロパン(LPG)のどちらかを選択できるように設計されています。

希望の燃料を選択するには、選択スイッチをパネル上の燃料シンボルまで回転させるだけです。LPGを使用する場合は、燃料セレクター・スイッチを12時の位置(垂直)に回します(A)。



燃料選択スイッチを3時の位置(水平)に回すと、ガソリンが使用できます(B)。



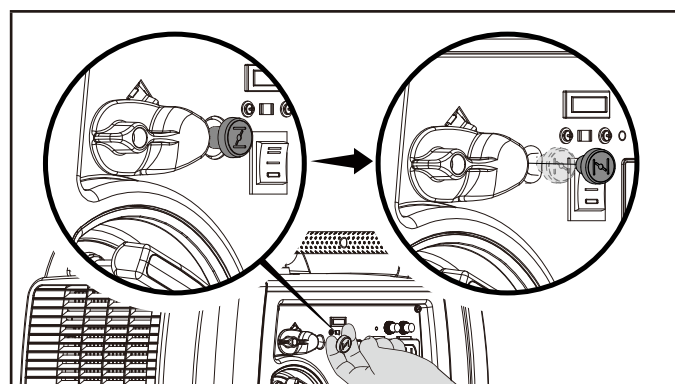
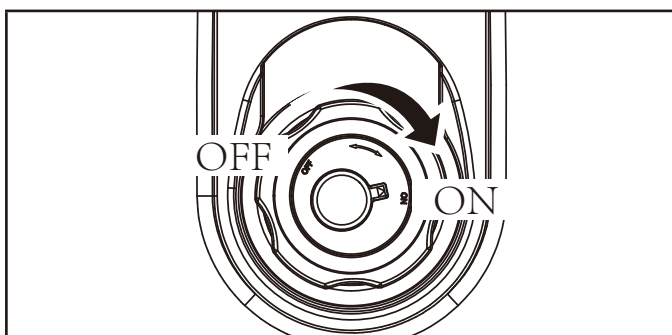
4. チョークノブを「CHOKE」の位置に引き込みます。

注意

燃料選択スイッチが3時の位置にあるとき、ガソリン燃料バルブは開いています。ガソリン燃料バルブを閉じるには、選択スイッチを12時の位置に回します。

エンジンの始動:ガソリン

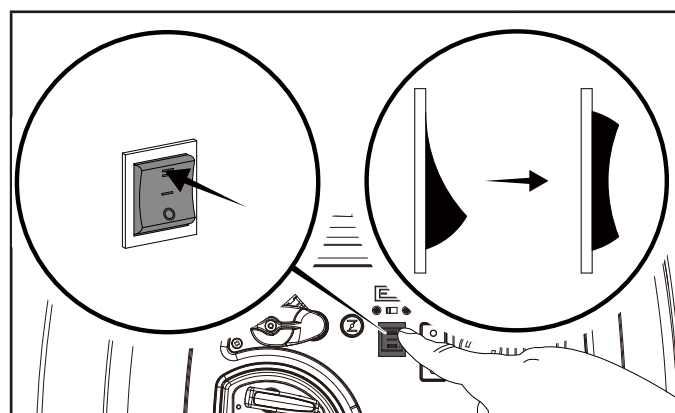
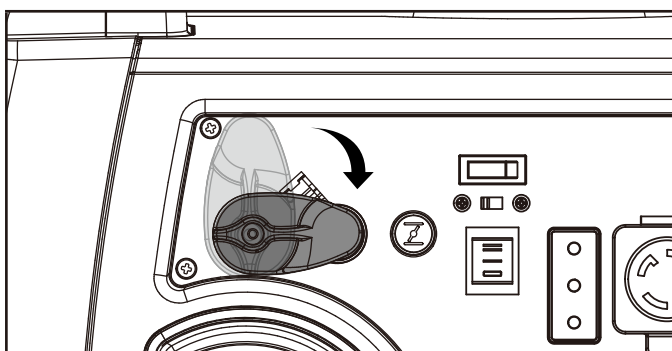
発電機が平らで水平な場所にあることを確認します。
燃料キャップベントレバーを「ON」の位置に回します。



5. イグニッションスイッチを「START」位置まで押し続けます。エンジンが始動し始めたら放します。エンジンが5秒以内に始動しない場合は、スイッチを放し、少なくとも10秒間待ってから再始動してください。

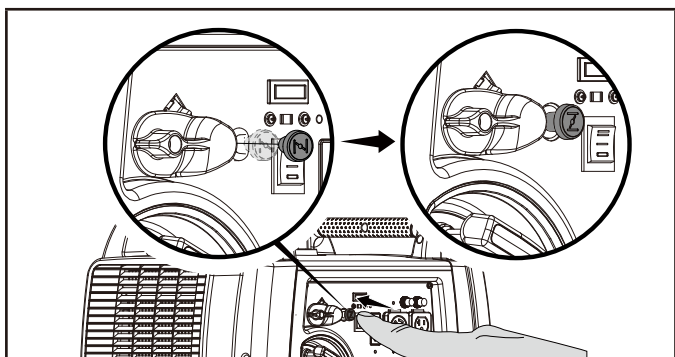
電気スタート

1. 発電機からすべての電気負荷を切り離します。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を始動または停止しないでください。
2. 燃料選択スイッチを「ガソリン」の位置に回します



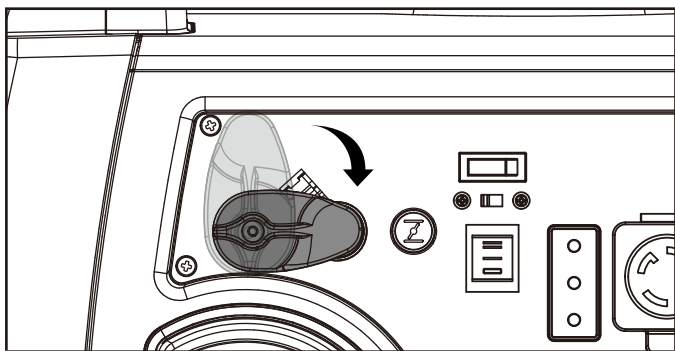
6. チョークノブを「RUN」の位置まで押し込みます。

3. バッテリースイッチを「ON」の位置に押します。

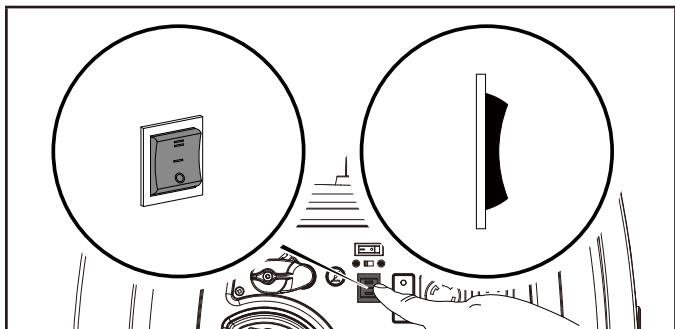


手動スタート

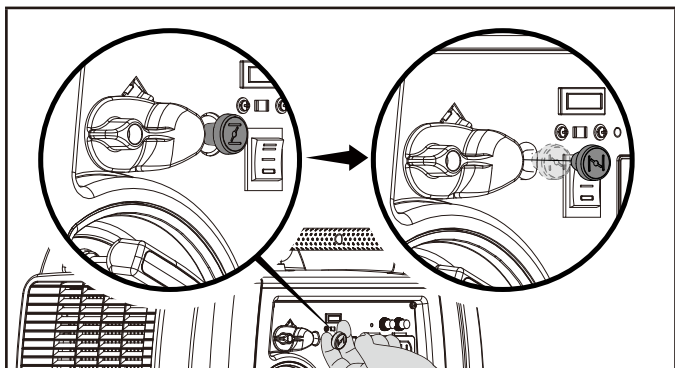
1. 発電機からすべての電気負荷を切り離します。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま発電機を始動または停止しないでください。
2. 燃料選択スイッチがガソリン運転に設定されていることを確認してください。



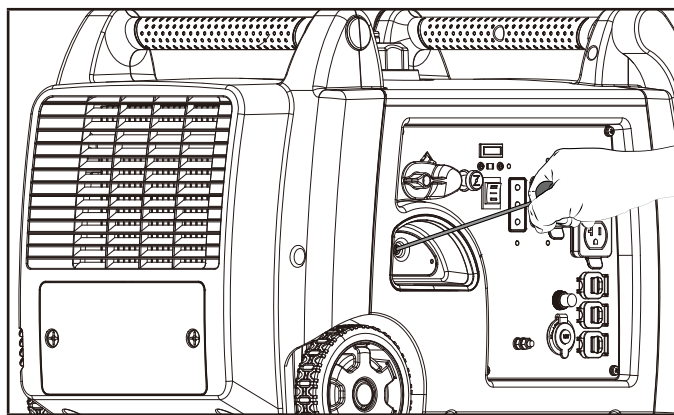
3. イグニッションスイッチを「ON」位置に押しします。



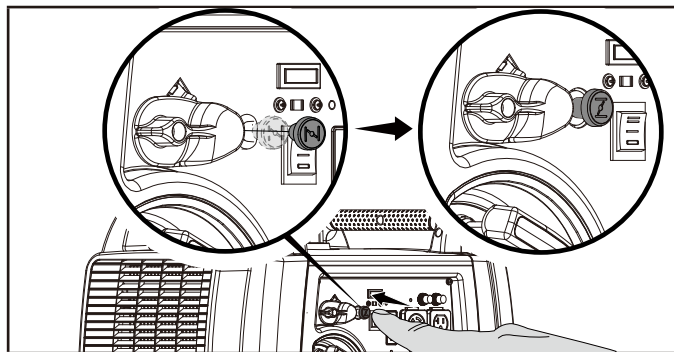
4. チョークノブを「CHOKE」の位置に引き込みます。



5. リコイルを引いてエンジンを始動します。



6. チョークノブを「RUN」の位置まで押し込みます。



注意

30°Cを超える高温の環境で、高温のエンジンを使用しガソリンで再始動する場合： チョークを「CHOKE」位置の75%に保ち、リコイルコードを1-2回引きます。

チョークを効かせすぎるとスパークプラグが汚れたり、エンジンがフラディングしたりします。その場合エンジンが始動しなくなる原因となります。

注意

15°C未満の寒冷環境でのガソリン始動する場合： 手動始動の場合、チョークは「CHOKE」位置の100%でなければなりません。チョークのかけすぎに注意してください。

エンジンが始動したらすぐに、エンジンを20秒間暖機させ、チョークノブを「RUN」の位置まで押し込んでください。

注意

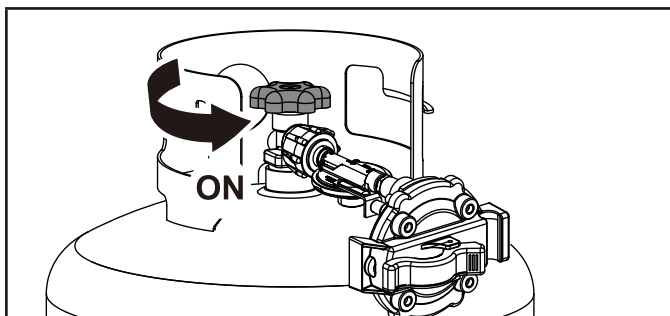
エンジンは始動するが、運転が続かない場合、発電機が平らで水平な場所にあることを確認してください。エンジンにはオイル低下センサーが装備されています。オイルレベルがしきい値を下回ると、エンジンが作動しなくなります。

エンジンの始動：プロパン (LPG)

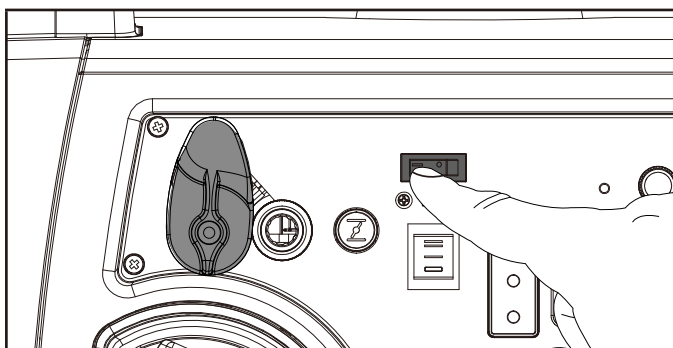
発電機が平らで水平な場所にあることを確認します。

電気始動

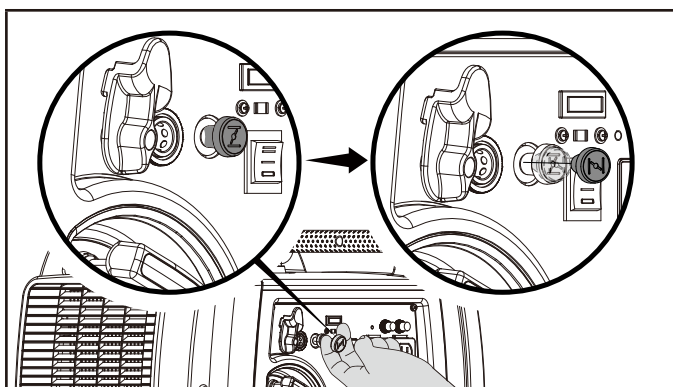
1. 発電機からすべての電気負荷を切り離します。電気機器が接続されたまま、または電源がオンの状態で、発電機を絶対に始動または停止しないでください。
2. LPGボンベの燃料バルブを全開にします。



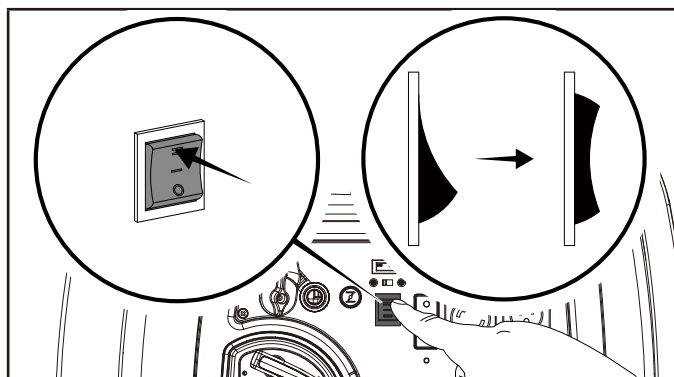
3. バッテリースイッチを「ON」の位置に押しします。



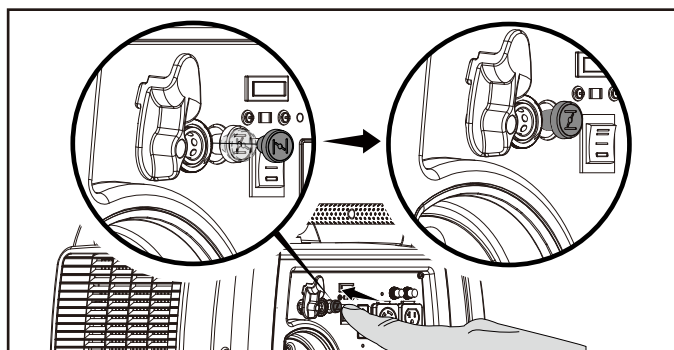
4. チョークノブを「CHOKE」の位置に引き込みます。



5. イグニッションスイッチを「START」位置まで押し続けます。エンジンが始動し始めたら放します。5秒以内にエンジンが始動しない場合はスイッチを切り、少なくとも10秒間待ってからエンジンを再始動してください。

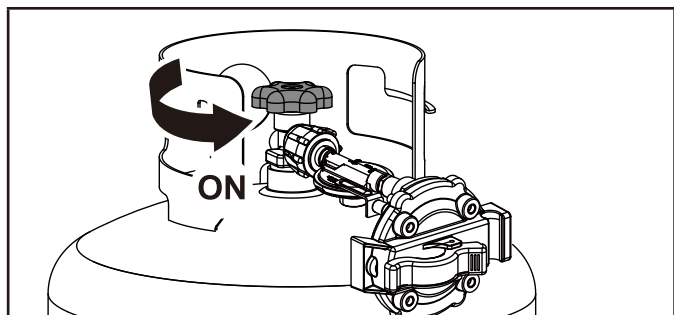


6. チョークノブを「RUN」の位置まで押し込みます。

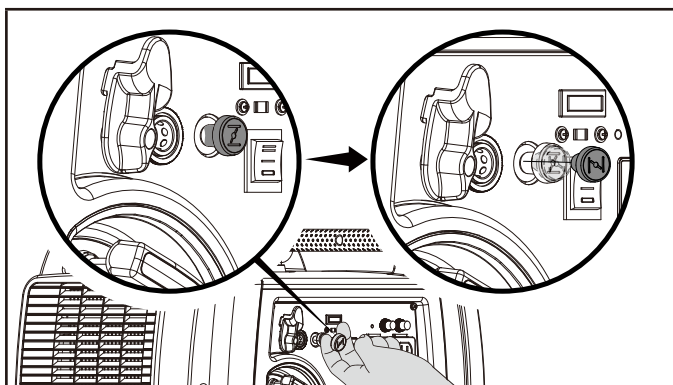


手動スタート

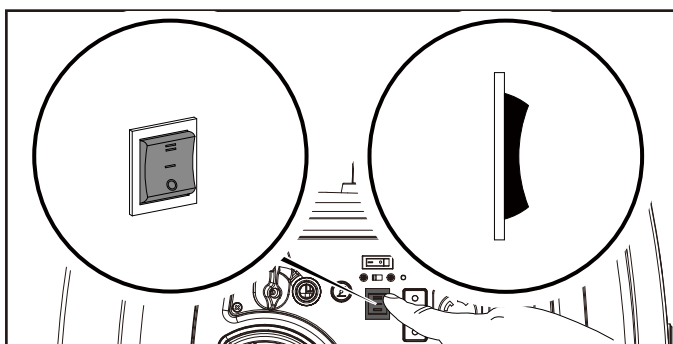
1. 発電機からすべての電気負荷を切り離します。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を始動または停止しないでください。
2. LPGボンベの燃料バルブを全開にします。



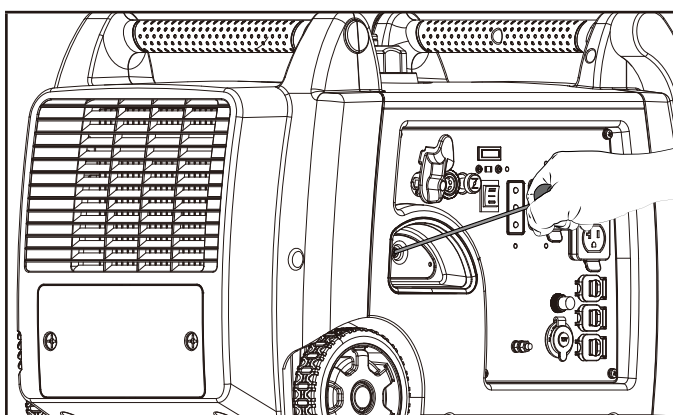
3. チョークノブを「CHOKE」の位置に引き込みます。



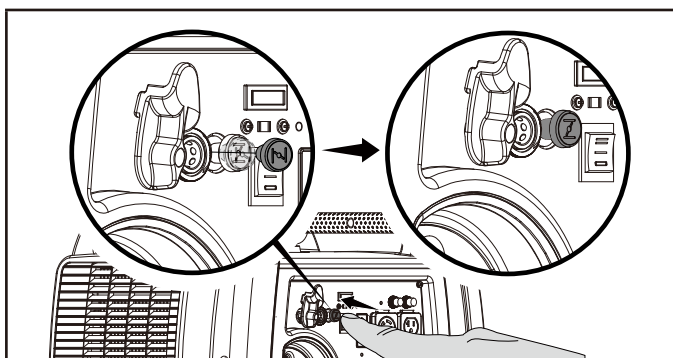
4. イグニッションスイッチを「ON」位置に押しします。



5. リコイルを引いてエンジンを始動させます。



6. チョークノブを「RUN」の位置まで押し込みます。

**注意**

周囲温度が30°Cを超える時、高温のエンジンでLPGを再始動する場合は、チョークを「CHOKE」の半分の位置に動かし、エンジンを1-2回ゆっくり引くだけで始動させてください。その後、通常の始動手順に従ってください。

注意

エンジンは始動するが動かない場合、発電機が平らで平坦な場所にあることを確認してください。エンジンには、オイルレベルが臨界しきい値以下になるとエンジンが作動しないようにするオイル低下センサーが装備されています。

注意

LPGボンベとレギュレーターに霜が付くのは運転中よくあることで、通常は問題の兆候ではありません。LPGが気化し、ボンベから発電機エンジンに移動すると膨張します。形成される霜の量は、ボンベのサイズ、使用されるLPGの量、空気の湿度、およびその他の運転条件によって影響を受けます。

注意

異常な状況では、この霜が最終的に発電機へのLPGの流れを制限し、性能の悪化を招く可能性があります。

たとえば、ボンベの温度が非常に低いレベルまで低下すると、LPGが気化する速度も低下し、エンジンに十分な流量が供給されなくなる可能性があります。これは発電機に問題があることを示すものではありません。ボンベからのLPGの流れに問題があるだけです。発電機の性能が悪化しているようであれば、またタンクのバルブ、ホース、またはレギュレーターに氷の形成が観察される場合は、この症状をなくすために何らかの措置を講じる必要があります。このようなまれな状況では、以下のいずれかを実行することで、低温燃料システムの影響を軽減または排除することができます：

- ボンベを交換して、最初のボンベを暖めます。必要に応じて繰り返します。
- ボンベを発電機の端のハンドルそばに置きます。この空気は、エンジンの上を流れることでわずかに温められています。ただし、ボンベは、マフラー排出口に置かないでください。
- ボンベは、水や温水をボンベ上部にかけることで一時的に温めることができます。

電気負荷の接続

始動後、数分間エンジンを安定させ、ウォームアップさせます。プラグを差し込み、希望するAC100Vまたは200V単相、50/60Hzの電気負荷をオンにします。

- 発電機に3相負荷を接続しないでください。
- 発電機に過負荷をかけすぎないでください。

▲ 警告

発電機の電源コードをコンセントに差し込んだり、家庭内のブレーカーパネルに接続したりしないでください。

発電機を自宅の電力会社の送電線に接続したり、別の電源に接続したりすることは、「逆潮流」と呼ばれ、多くの地域や自治体で違法とされている危険な行為です。

この操作を誤ると、発電機や電化製品が損傷し、重大な人身事故が発生する恐れがあります。また、近隣で停電が発生し、電力会社の作業員が電力を復旧しようとした際に、不意に電線上の高電圧に遭遇し、致命的なショックを受ける可能性があります。けがの有無にかかわらず、適用される法律や規範に従わずに不適切に設置された場合、罰金や電力会社により家庭の電力が停止される可能性があります。

発電機が建物の電気系統に接続される場合、その接続は、発電機の電力を電力会社の電力から分離する必要があります。発電機の電気が電力会社の送電線に逆流しないようにする責任は、発電機使用者にあります。この接続を適切に行うには、最寄りの電力会社または有資格の電気技師にご相談ください。

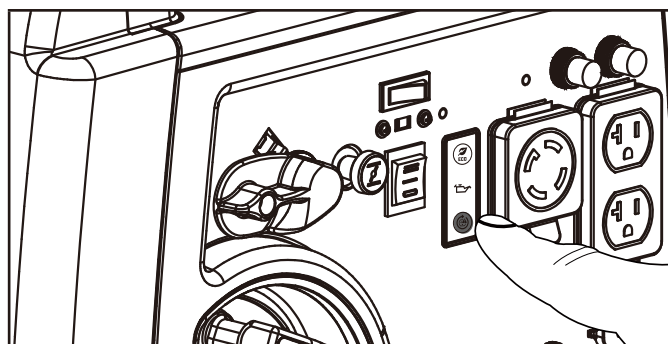
発電機に過負荷をかけない

容量

以下の簡単な手順に従って、目的に必要な稼働ワットと始動ワットを計算してください：

1. 同時に稼働させる予定の電気機器を選択します。
2. これらの機器の稼働ワットを合計します。これは、機器を作動させ続けるために必要な電力量です。
3. ステップ1で特定したすべての機器のうち、最も高い始動ワット数を特定します。この数値をステップ2で計算した数値に加えます。始動ワットとは、電気機器を始動させるために必要な電力です。「電力の管理」に記載されている手順に従うことで、一度に1つの機器しか起動しないことが保証されます。

4. AC過負荷ランプが点滅する過負荷状態により発電機の電源出力が切断された場合、1つまたは複数のアイテムのプラグを抜いて負荷を下げ、AC過負荷リセットボタンを押してから発電機を再起動し、正常な動作を継続します。



電力の管理

電圧とアンペア数をワットに変換するには、以下の式を使用します：

$$\text{ボルト} \times \text{アンペア} = \text{ワット}$$

発電機と付属の機器を長持ちさせるために、以下の手順に従って電気負荷を追加してください。

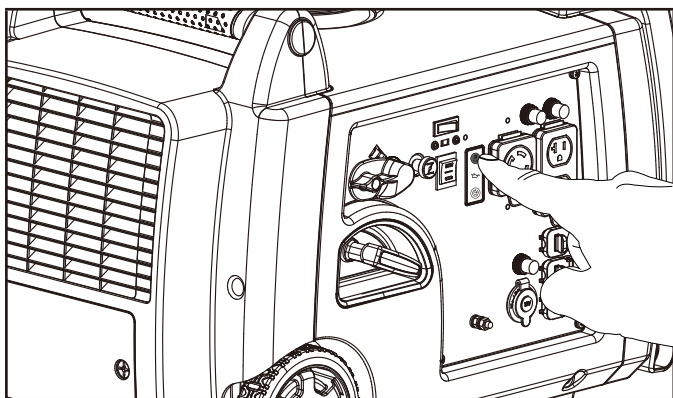
1. 電気負荷が接続されていない状態で発電機を始動します。
2. エンジンを数分間作動させ、温度を上げます。
3. すべてのサーキットブレーカーがランの位置に設定されていることを確認します。
4. プラグを接続し、最初のアイテムをオンにします。負荷の大きいものから取り付けるのが最善です。
5. エンジンが安定するのを待ちます。
6. プラグを差し込み、次のアイテムをオンにします。
7. エンジンが安定するのを待ちます。
8. アイテムを追加することにステップ5～6を繰り返します。

● 注意

発電機に負荷を追加する場合は、絶対に指定された容量を超えないようにしてください。

エコ(エコノミー)モード

エコモードスイッチを作動させると、エコノミー制御がオンになり、電気出力が低下している時間帯の運転中の燃料消費と騒音を最小限に抑えることができます。エコモードでは、使用しない間はエンジン速度をアイドル状態にし、電気負荷が接続されるとエンジン速度が通常速度に戻ります。エコノミースイッチがオフの場合、エンジンは通常速度で連続運転します。



▲ 注意

電気負荷が高い期間や瞬間的な変動がある場合は、エコモードをオフにしてください。

DC12V 車載用安定化コンセント

DC12Vコンセントは、付属のアクセサリや市販のDC12V車載用プラグに使用できます。お使いの機器の入力電圧範囲がDC12~24V以上であることをご確認ください。

▲ 警告

電子機器を充電する際は、発電機の排気側に置かないでください。排気による極端な熱は、電子機器を損傷し、火災を引き起こす可能性があります。エンジンの排気に長時間さらされると、重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。

バッテリーの充電

1. バッテリー充電ケーブルを車両に取り付けられたバッテリーに接続する前に、車両バッテリーアースケーブルをバッテリー負(-)端子から外します。
2. バッテリー充電ケーブルを発電機のDC12Vコンセントに差し込みます。
3. 赤(+)バッテリー充電器のリード線を赤(+)バッテリー端子に接続します。
4. 黒(-)バッテリー充電器のリード線を黒(-)バッテリー端子に接続します。
5. 発電機を始動します。

重要: DC12Vコンセントは、付属のアクセサリおよび市販のDC12V車載用プラグにのみ使用できます。発電機に接続する前に、電線やプラグ接続を含むすべての電気機器が良好な状態であることを確認してください。

▲ 警告

バッテリー充電ケーブルが接続され、発電機が作動している間は、車両を始動させないでください。バッテリーに電力が供給されません。また車両または発電機が損傷する恐れがあります。通気性のある湿式鉛蓄電池のみを充電してください。他のタイプのバッテリーは破裂し、人身事故や損傷の原因となる可能性があります。

● 注意

発電機に接続する前に、電線やプラグの接続を含むすべての電気機器が良好な状態であることを確認してください。

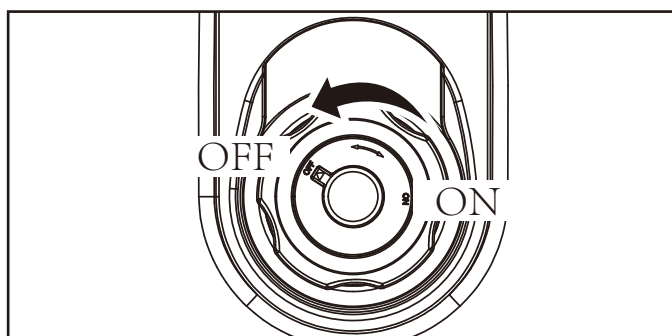
並列運転(米国のみ)

Championモデル500263-Jは並列運転に対応しており、別のChampionユニットと並列運転することで、利用可能な総電力を増やすことができます。並列運転には、Championモデル500319-J並列キット(オプション機器)が必要です。互換モデルのリストまたは並列キットの注文については、並列キットの設置および接続された発電機の操作に関する詳細な手順は、並列キット操作マニュアルに記載されています。

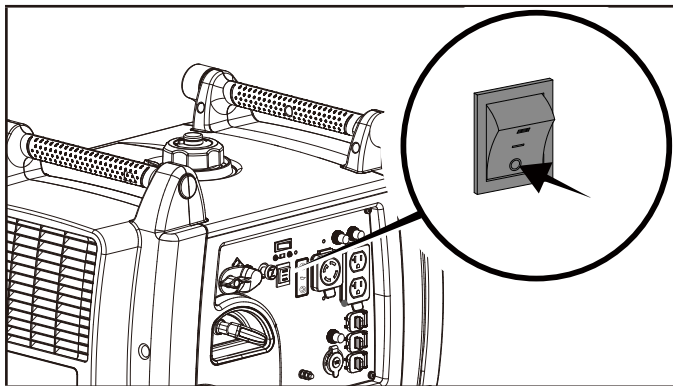
エンジンの停止

ガソリン:

1. すべての電気負荷をオフにし、プラグを抜きます。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま発電機を始動または停止しないでください。
2. 発電機を無負荷状態で数分間運転し、エンジンと発電機の内部温度を安定させます。
3. 燃料キャップベントレバーを「OFF」の位置に回します。

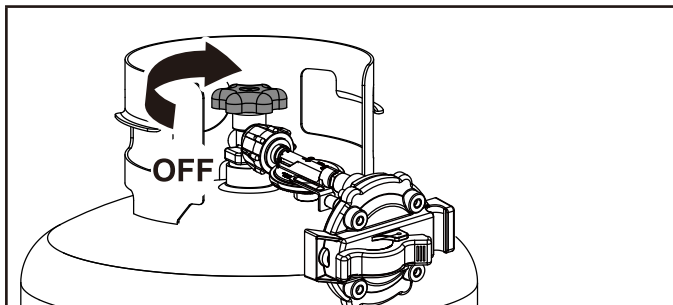


4. エンジンスイッチを「OFF」位置に押してください。



プロパン:

1. すべての電気負荷をオフにし、プラグを抜きます。電気機器を接続したまま、または電源を入れたまま、発電機を始動または停止しないでください。
2. エンジンと発電機の内部温度を安定させるため、発電機を数分間無負荷で運転します。
3. プロパンポンベの燃料バルブを閉じます。



注意

発電機を2週間以上使用しない場合は、「保管」の項を参照し、エンジンと燃料を適切に保管してください。

- 発電機の移動中は、絶対に横に傾けないでください。
- これらの指示に従わないと、人身事故や発電機の損傷につながる恐れがあります。

高地での操作

高地での空気の密度は海面より低く、空気質量と空燃比が減少するため、エンジン出力が低下します。高地では、空燃比が濃縮されるため、排気ガスも増加します。その他の高地での問題としては、始動性の低下、燃料消費量の増加、スパークプラグの汚損などがあります。

自然な出力低下以外の高地での問題を軽減するために、高地用キャブレターメインジェットを使用することができます。代替メインジェットと取り付け方法は、技術サポートにお尋ねください。

警告

推奨最低高度より低い高度で代替メインジェットを使用して運転すると、エンジンに損傷を与える恐れがあります。低い高度で運転する場合は、元々供給されている標準メインジェットを使用する必要があります。指定された高度で誤ったエンジン構成でエンジンを運転すると、排出ガスが増加し、燃料効率と性能が低下する恐れがあります。

発電機の移動

- 折りたたみハンドルを使用して、発電機を持ち上げたり運んだりしないでください。
- 発電機は、必ず直立状態でホイールの上に置いてください。
- 発電機は、必ず電源を切り、燃料バルブが閉じていることを確認してください。
- 発電機を安全に取り扱う前に、必ずエンジンとマフラーが冷却されていることを確認してください(通常15~30分)。

1. 車輪の反対側にある折りたたみハンドルを持ち上げます。
2. ハンドルを使って、ホイール上でバランスが取れるまで、発電機の端を地面からわずかに傾けます。
3. バランスを保ちながら、発電機を目的の場所まで転がします。

メンテナンス

発電機が清潔に保たれ、適切に保管されていることを確認してください。

本機は、清潔で乾燥した使用環境の、平坦な場所でのみ操作してください。極端な温度環境、過度のほこり、汚れ、湿気、腐食性蒸気に本機をさらさないでください。

▲ 警告

損傷した発電機や欠陥のある発電機は、絶対に操作しないでください。

▲ 警告

不適切なメンテナンスは、保証を無効にします。

● 注意

排出ガス規制装置及びシステムについては、排出ガス規制保証書に記載されているサービス責任を読み、理解してください。

定期整備はすべて所有者/運転者が責任をもって行ってください。すべての定期保守を適時に完了してください。発電機を運転する前に、問題があれば修正してください。

発電機のクリーニング

▲ 注意

発電機に直接水を吹き付けしないでください。

水は、冷却スロットから発電機に侵入し、発電機の巻線を損傷する可能性があります。また燃料システムを汚染する恐れがあります。

1. 湿らせた布を使用して、発電機の外面を清掃します。
2. 柔らかい毛ブラシを使用し、汚れや油を取り除きます。
3. エアコンプレッサー(25 PSI)を使用して、発電機から汚れやごみを取り除きます。
4. すべての通風孔と冷却スロットが清潔で障害物がないことを点検します。

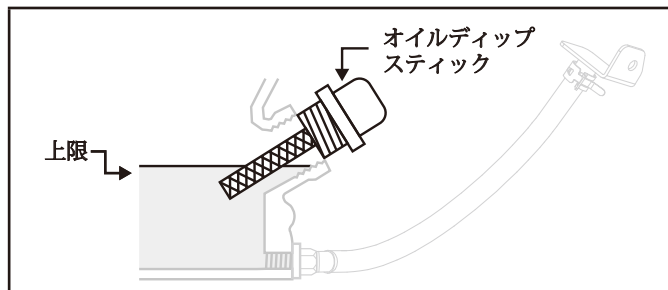
偶発的な始動を防ぐため、整備を行う前に、スパークプラグワイヤーを取り外して接地してください。

エンジンオイルの交換

オイルの交換は、エンジンが暖まってから行ってください。オイルの仕様を参照して、使用環境に適したグレードを選択してください。

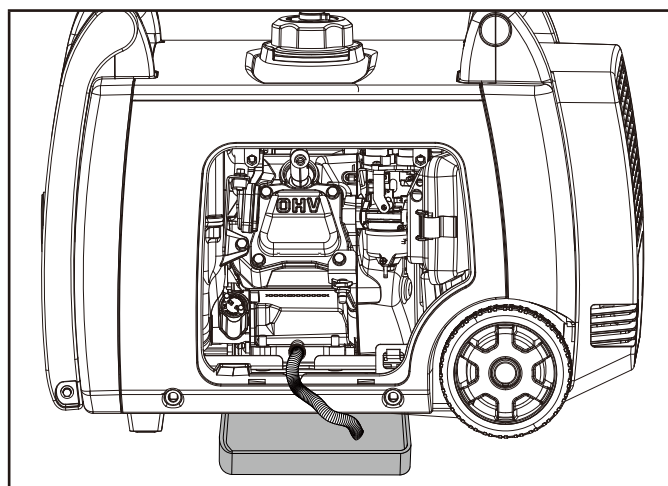
1. 発電機を平らな場所に置きます。
2. カバーのネジを緩め、メンテナンスカバーを取り外します。
3. オイルフィルキャップ/ディップスティックを取り外します。

4. プライヤーを使ってスプリングクランプをオイルドレインホースの下にスライドさせ、プラグブラケットからホースを引き抜きます。



5. ホースをドレンパンに向け、オイルを完全に排出してください。

注: オイルを排出するには、ホースの端をエンジンベースより低くする必要があります。



6. オイルドレインホースをプラグブラケットに取り付け、スプリングクランプを所定の位置にスライドさせて戻します。
7. 組み立てセクションの「エンジンオイルの追加」に従ってオイルを追加し、メンテナンスカバーを再び取り付け、つまみをロック位置まで回します。オイルを入れすぎないでください。定期整備用のオイルは含まれていません。
8. 使用済みオイルは、認可された廃棄物処理施設で処分してください。

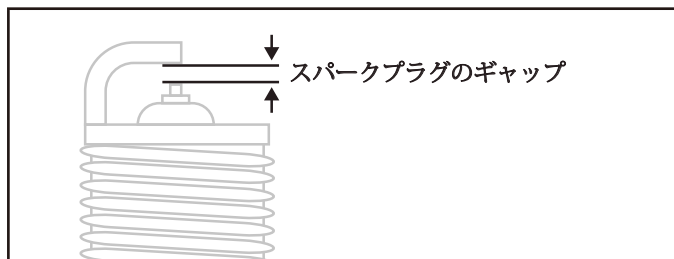
● 注意

オイルを入れた際、オイルが充填穴から1-2目盛りほど流れ出ていることを目視で確認してください。オイルレベルの点検にディップスティックを使用する場合は、点検中にディップスティックをねじ込まないでください。

スパークプラグの清掃と調整

1. カバーのネジを緩め、メンテナンスカバーを取り外します。
2. スパークプラグからスパークプラグケーブルを外します。
3. スパークプラグソケットツールまたは21mm(13/16インチ)ソケットを使用してプラグを取り外します。

- プラグの電極を点検します。点火に必要な火花を発生させるために、清掃され磨耗していないか点検してください。
- スパークプラグのギャップは0.55-0.65mm (0.021-0.025インチ)あるか確認してください。



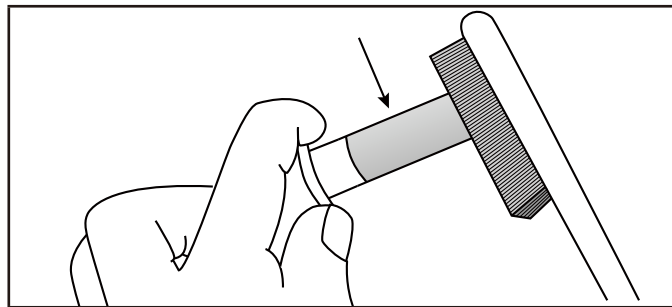
- プラグを交換する際は、仕様書のスパークプラグの種類を参照してください。
- プラグをしっかり再度取り付けます。
- スパークプラグケーブルをスパークプラグに取り付けます。
- メンテナンスカバーを再び取り付けます。

エアフィルターの清掃

- カバーのネジを緩め、メンテナンスカバーを取り外します。
- メンテナンスカバーを取り外します。
- エアフィルターのプラスチックカバーを確認します。
- カバーのロックヒンジを外します。
- 古いフィルターを取り外します。
- 新しいフィルターを組み立てます。
- エアフィルターカバーのヒンジをはめ直します。
- メンテナンスカバーを再び取り付け、カバーのねじをしっかりと締めます。

スパークアレスタの清掃

- スパークアレスタを整備する前に、エンジンが完全に冷えていることを確認してください。
- スパークアレスタの端をマフラーに固定している、カバープレート2個を取り外します。
- スパークアレスタのスクリーンを取り外します。
- スパークアレスタスクリーンに付着したカーボンをワイヤーブラシで慎重に取り除きます。
- スパークアレスタが損傷している場合は、交換してください。
- スパークアレスタをマフラーに取り付け、2個のネジで固定します。ネジ2個で取り付けます。



▲ 注意

スパークアレスタの清掃を怠ると、エンジン性能の低下につながります。

ガバナーの調整

▲ 警告

工場出荷時に設定されているガバナーに手を加えると、保証が無効になります。

混合気は調整できません。ガバナー発電機や電気装置を損傷し、保証を無効にする場合があります。その他調整に関してご不明の点があれば、技術サポートにご連絡ください。

発電機バッテリー

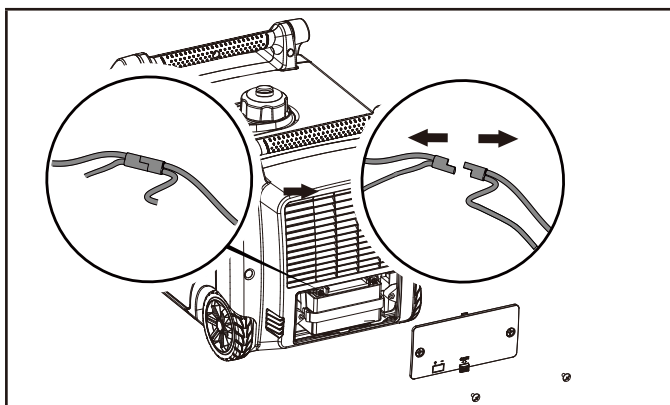
お使いの発電機には、エンジン運転中にバッテリーを充電する自動バッテリー充電回路が装備されています。エンジンの運転中にバッテリーを充電します。

本機を定期的(約2週間に1回)使用される場合、バッテリーは適切な充電状態を維持します。使用頻度が低い場合は、バッテリーをトリクルチャージャーまたはバッテリーメンテナーに接続し、バッテリーを適切に充電してください。

最大充電速度は1.5アンペアを超えないようにしてください。バッテリー充電器に付属の説明書に従ってください。バッテリーは、少なくとも月に1回は完全に充電してください。バッテリーを使用してエンジンが始動できない場合は、手動でエンジン エンジンを始動できます。バッテリー電圧が極端に低下している場合は、再充電できない場合があります。この場合、バッテリーを標準的な自動車用バッテリー充電器に接続して再充電する必要があります。

バッテリーの取り外し

- ドライバーを使用し、バッテリーメンテナスカバーのネジ2本を外します。
- バッテリーコネクターの2つを引き離します。
- メンテナンスカバーを再度取り付けます。



バッテリーの充電

電気始動用のバッテリーを装備した発電機の場合、適切なバッテリーのメンテナンスと保管に従う必要があります。発電機の保管中は、トリクル充電器またはバッテリーメンテナを使用してバッテリーを充電する必要があります。最大充電率は、1.5アンペアを超えないようにしてください。トリクル充電器またはまたはバッテリーメンテナに付属の説明書に従ってください。バッテリーは満充電にする必要があります。

メンテナンススケジュール

以下のメンテナンススケジュールに記載されている整備間隔に従ってください。

悪条件下で運転する場合は、より頻繁に整備してください。

8時間ごと、または使用前

- オイルレベルの点検
- 吸気口とマフラー周辺の清掃
- プロパン (LPG) ホースに漏れがないかの点検

最初の5時間 (慣らし運転)

- オイル交換

50時間ごと、または毎年

- エアフィルターの清掃
- 高負荷または高温環境下で運転する場合は、オイルを交換する。

100時間ごと、または毎年

- オイル交換
- スパークプラグの清掃 / 調整
- スパークアレスタの清掃
- 燃料バルブフィルターの清掃*

250時間ごと

- 燃焼室の清掃*
- バルブクリアランスの点検・調整*

3年ごと

- 燃料ラインの交換*
- LPGホースの交換

*知識、経験豊富なオーナーまたは専門の技術者が行ってください。

保管

⚠ 危険

ガソリンの蒸気は非常に可燃性が高く、爆発しやすい性質があります。

火災や爆発により、重度の火傷を負ったり死亡する恐れがあります。燃料の充填や排出は、屋外の換気の良い場所で行ってください。発電機に直接ガソリンを入れしないでください。燃料を発電機に移すには、認可された容器を使用してください。ガソリン容器、ガソリンタンク、その他の燃料容器が損傷していたり、損傷しているように見える場合は、絶対に使用しないでください。

ガソリンタンクに燃料を入れ過ぎないでください。燃料は、火花、裸火、種火、熱、その他の着火源から常に遠ざけてください。タバコに火をつけたり、近くでタバコを吸ったりしないでください。

短期保管 (最大30日間)

4週間以内に発電機を作動させるか、キャブレターの水抜きを行わないと、ガソリンが固まってキャブレターが詰まることがあります。

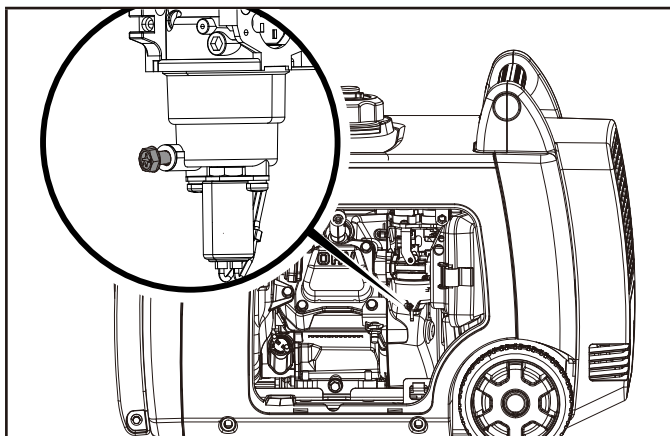
1. すべての電気器具が発電機から取り外されていることを確認します。
2. 「エンジンの始動」セクションの指示に従って発電機を始動します。
3. 燃料バルブを「OFF」(LPG)の位置に回します。
4. 燃料が枯渇してエンジンが停止するまでエンジンを運転します。これには通常数分かかります。
5. エンジンスイッチを「OFF」の位置に動かします。

中期保管 (30日～1年)

タンク内のガソリンは、適切に調合された燃料安定剤を加え、涼しく乾燥した場所に保管すれば最長で1年間保存可能です。涼しく乾燥した場所に保管してください。

1. すべての電気器具が発電機から取り外されていることを確認します。
2. 適切な燃料安定剤をガソリンタンクに入れます。
3. 燃料バルブを垂直に「ON」の位置に回します。
4. 発電機を始動して10分間作動させ、ガソリンを燃料系統に循環させます。

5. オプション1: キャブレターからガソリンを抜く
 - 5a. エンジンスイッチを「OFF」位置にし、発電機を完全に冷やしてから作業を続けます。
 - 5b. 燃料バルブを「OFF」の位置に回します。
 - 5c. キャブレターのドレンボルトを使用して、キャブレターから余分なガソリンを適切な容器に空けます。漏斗(必要であれば適切なホース)を使用し、こぼれないようにします。



- 5d. キャブレターからガソリンが出なくなったら、キャブレタードレンボルトを交換して締め付け、排出されたガソリンは必ず地域の規制やガイドラインに従って適切に処理してください。

6. オプション2: 空運転

- 6a. 発電機が作動している状態で、燃料バルブを「OFF」の位置に回し、燃料が完全に枯渇してエンジンが停止するまで発電機を作動させます。これには数分かかる場合があります。
- 6b. エンジンスイッチを「OFF」の位置に回し、続行する前に発電機を完全に冷却します。

長期保管(1年以上)

1年以上保管する場合は、ガソリンタンクとキャブレターのガソリンを完全に抜いてください。

1. 「中期保管」の手順1~4に従ってください。
 - 1a. エンジンスイッチを「OFF」位置にし、発電機が完全に冷えてから続行します。

2. キャブレターのドレンボルトを使い、ガソリンタンクとキャブレターから余分なガソリンを適切な容器に空けてください。キャブレターのドレンボルトの下に漏斗(必要なら適切なホース)を置き、こぼれないようにします。
3. キャブレターからガソリンが流れなくなったら、キャブレターを交換して締め付けます。キャブレターのドレンボルトを締め付け、排出されたガソリンを適切に処理します。排出されたガソリンは、必ず地域の規則またはガイドラインに従って適切に処理してください。
4. 燃料バルブを「OFF」位置に回します。
5. 「中期保管」のステップ8~11に従ってください。

LPGの保管

発電機からLPGホースを必ず外し、適切な保管のために、LPGタンクは必ず閉めてください。

通常、プラスチック製の保護キャップがある場合は、コンセントを塞ぎます。ボンベは常に熱から遠ざけてください。

保管場所からの取り出し

ガソリンタンクおよび/またはキャブレターにガソリンが入ったまま、発電機が長期間不適切に保管されていた場合、すべての燃料を抜き取り、キャブレターを徹底的に清掃する必要があります。

この作業は、技術的に高度な作業を伴います。発電機を保管する前に、ガソリンタンクとキャブレターが適切に空になっていた場合、保管から取り出す際には、以下の手順に従ってください。

1. エンジンスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
2. 「燃料の追加: ガソリン」に従って、発電機にガソリンを追加します。
3. 燃料バルブを垂直に「ON」の位置に回します。
4. 5分後、キャブレターとエアフィルター付近からガソリンが漏れていないか確認します。漏れが見つかった場合は、キャブレターを分解し、清掃または交換する必要があります。もしガソリン漏れがなければ、燃料バルブを「OFF」位置に戻します。
5. エンジンオイルのレベルを点検し、必要ならきれいな新しいオイルを補充します。適切なオイルの種類については、「オイルの仕様」を参照してください。
6. エアフィルターを点検し、虫やクモの巣などの障害物を取り除きます。必要であれば、以下の手順に従ってエアフィルターを清掃してください。
7. 「エンジンの始動」に従って発電機を始動します。

仕様

発電機の仕様

発電機型番.....	500263-J
始動タイプ.....	手動/電気
ワット (ガソリン) (始動 / 運転).....	4500/3100
ワット (LPG) (始動 / 運転).....	4500/2790
ACボルト.....	100/200
ACアンペア@ 100V.....	31
ACアンペア @ 200V.....	15.5
DCボルト.....	12
DCアンペア.....	8
周波数.....	50/60 Hz
相数.....	単相
接地タイプ.....	ニュートラルフローティング
重量.....	43.4 kg
長さ.....	63.7 cm
幅.....	44 cm
高さ.....	46.4 cm

エンジンの仕様

型式.....	YF170FD-L_G
排気量.....	192 cc
タイプ.....	4-Stroke OHV

スパークプラグ

OEM タイプ.....	F7RTC
交換タイプ.....	NGK BPR7ES または同等品
ギャップ.....	0.55-0.65 mm(0.021-0.025インチ)

バルブ

吸気クリアランス.....	0.06-0.12mm (0.002-0.005インチ)
排気クリアランス.....	0.08-0.14mm (0.003-0.006インチ)

オイルの仕様

オイルを入れすぎないでください。

タイプ.....	*次の表を参照
容量.....	600 ml

推奨オイルタイプ	
	10W-30
	5W-30
	10W-40
	5W-30 フルシンセティック
°F	-20 0 20 40 60 80 100 120
°C	-28.9 -17.8 -6.7 4.4 15.6 26.7 37.8 48.9
周囲温度	

注意

温度は、エンジンオイルとエンジン性能に影響します。エンジンの必要性に応じて、使用するエンジンオイルの種類を変えてください。

燃料の仕様

オクタン価87以上の無鉛ガソリンを使用してください。エタノール含有量が10%以下の無鉛ガソリンを使用してください。E15またはE85を使用しないでください。ガソリンを入れ過ぎないでください。

ガソリン容量..... 6.0 L

プロパン (LPG)

OPD(過充填防止装置)バルブが装備された認可されたLPGボンベのみを使用してください。(過充填防止装置)バルブが装備された認可されたLPGボンベのみを使用してください。

温度仕様

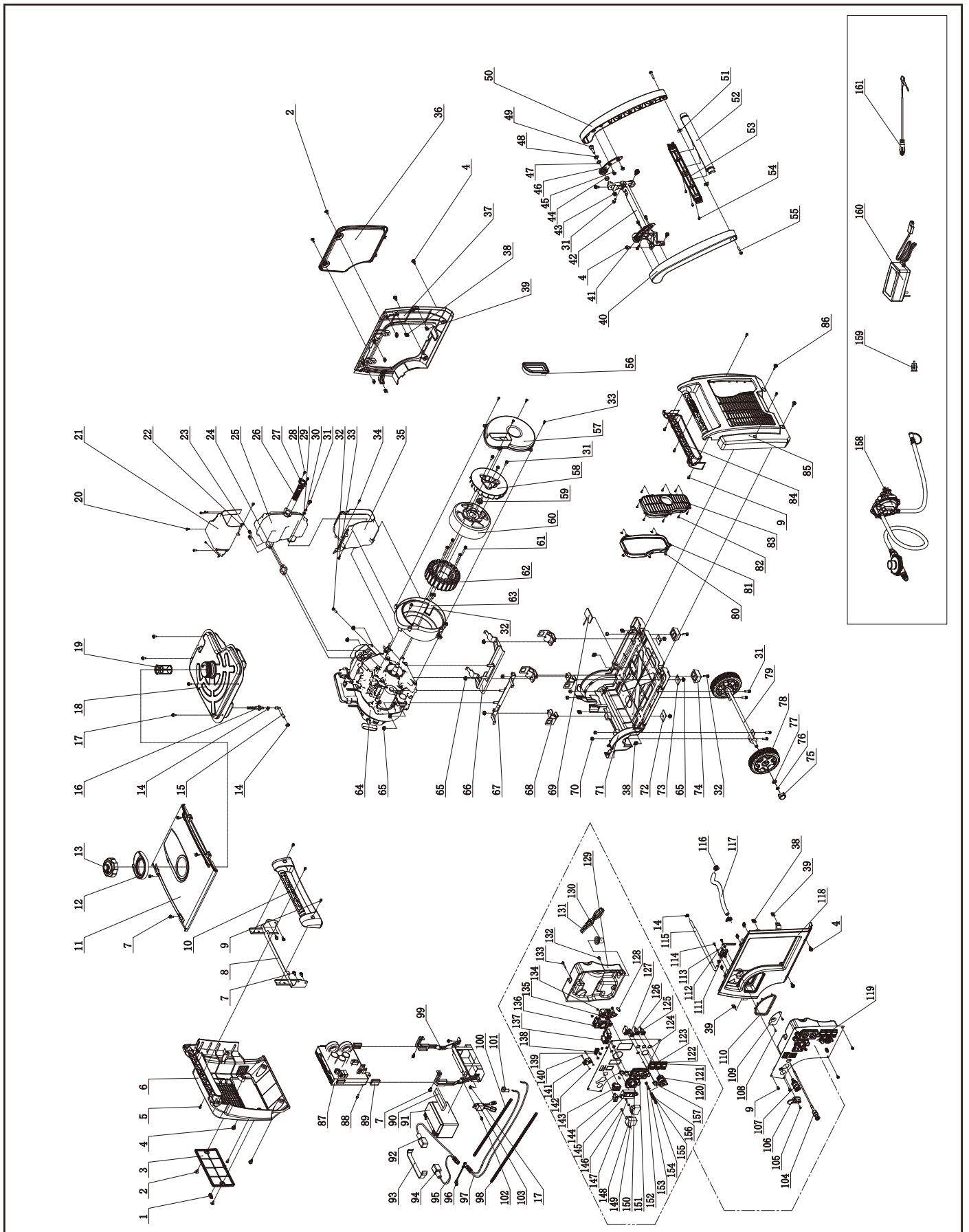
開始温度範囲..... -15 ~ 40°C

注意

温度に関する重要なメッセージ:本製品は、40°Cまでの周囲温度で連続作動するように設計され、定格されています。必要に応じて、短時間であれば-15°C~50°Cの温度範囲で作動させることができます。

保管中にこの範囲外の温度にさらされた場合は、運転前にこの範囲内に戻してください。いずれにせよ、本製品は必ず屋外の風通しの良い場所で、ドア、窓、換気口などから離して使用してください。

部品図



部品リスト

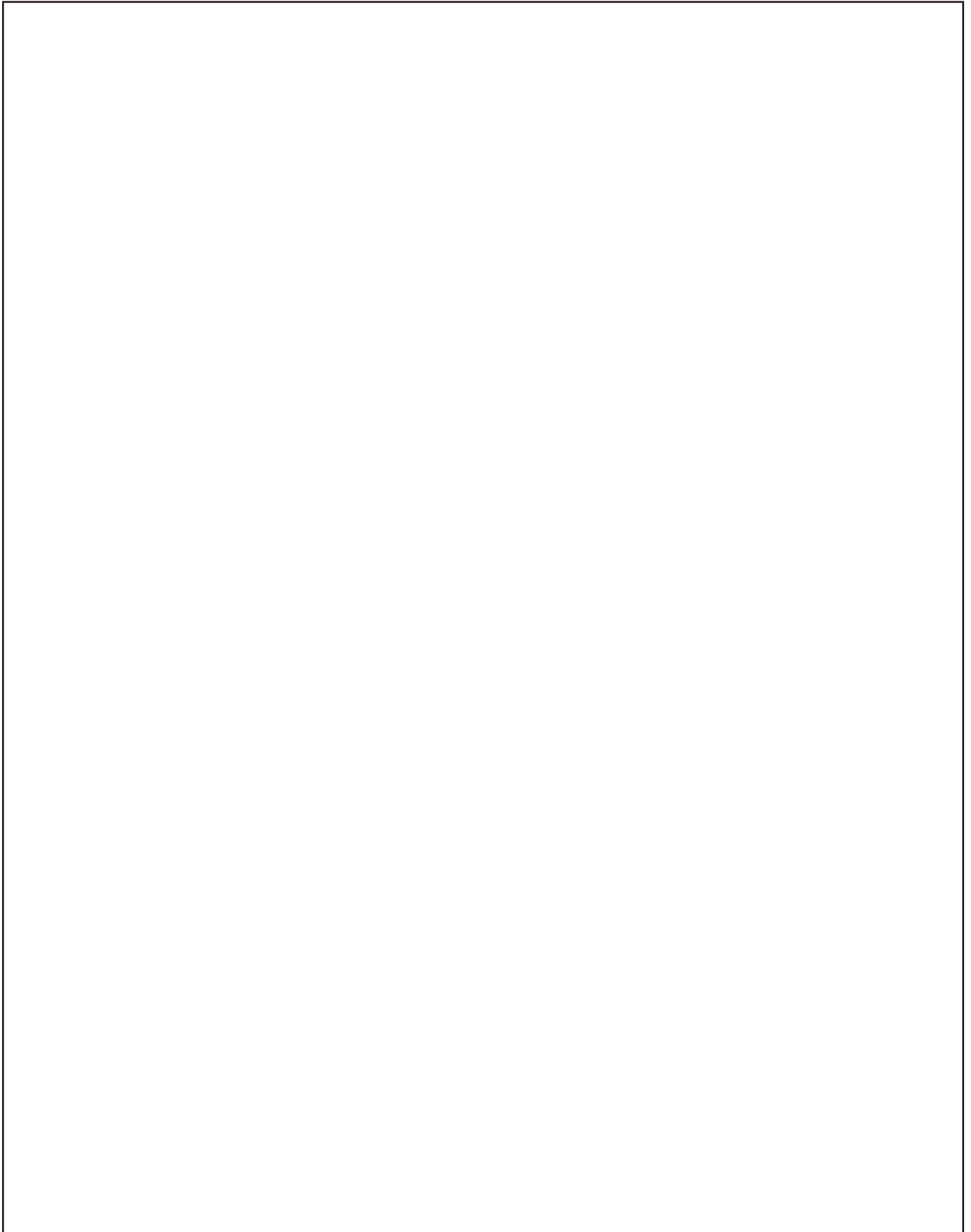
#	Part Number	Description	Qty.
1	83.200205.02	Hasp, Maintenance Cover	1
2	2.08.055.1	Bolt, Maintenance Cover, Black	4
3	83.200204.02	Maintenance Cover, Battery, Black	1
4	2.08.052.1	Bolt M6 x 16	10
5	1.9074.4.0516.1	Screw/Washer Assembly M5 x 16, Black	4
6	83.200201.02	Cover, Left, Black	1
7	1.5789.0612	Flange Bolt M6 x 12	11
8	83.201600.06	Supporter, Left	1
9	1.9074.4.0512.1	Screw/Washer Assembly M5 x 12, Black	11
10	83.200701.02	Handle, Left, Black	1
11	83.200500.01	Cover, Top, Black	1
12	83.200502.01	Spillway, Fuel Tank	1
13	83.070100.02	Cap, Fuel Tank	1
14	2.06.016	Clamp Ø8.7 x b8	3
15	83.070011.03	Fuel Pipe, Fuel Tank To Fuel Valve, Ø5.5xØ9.5	1
16	21.070600.03	Connect, AI	1
17	2.08.068.2	Flange Bolt M5 x 13	6
18	83.071000.05	Fuel Tank	1
19	83.070300.01	Fuel Filter, Fuel Tank	1
20	1.845.4213	Screw, ST4.2 x 13	6
21	83.081400.01	Muffler Protector Assembly, Upper	1
22	83.081004.01	Plate	1
23	2.02.001	Nut M6, Long	2
24	28.100001.00	Gasket, Exhaust	1
25	83.101100.01	Muffler Assembly	1
26	46.101300.08	Spark Arrester Assembly	1
27	46.101503.08	Plate, Spark Arrester	1
28	1.9074.4.0514	Screw/Washer Assembly M5 x 14	2
29	1.97.1.06	Washer Ø6	1
30	1.93.06	Lock Washer Ø6	4
31	1.5789.0615	Flange Bolt M6 x 15	10
32	1.5789.0620	Flange Bolt M6 x 20	6
33	1.845.4816	Screw, ST4.8 x 16	6
34	1.845.4219	Screw, ST4.2 x 19	1
35	83.081500.01	Muffler Protector Assembly, Lower	1
36	83.200402.01	Protector, Rear Cover, Black	1
37	83.200401.01	Supporter, Rear Cover, Black	1
38	2.02.014	Nut M6, Square	12
39	2.02.010	Cage Nut M5	8

#	Part Number	Description	Qty.
40	83.200701.03	Handle, Left, Black	1
41	83.200704.01.2	Bracket, Left, Black	1
42	83.201600.05	Supporter, Right	1
43	1.6187.1.08	Lock Nut M8, Flange	2
44	2.13.001	Bushing, Ø13.3 x Ø19.3 x 8	2
45	1.5789.0612.1	Flange Bolt M6 x 12, Black	4
46	83.200704.02.2	Bracket, Right, Black	1
47	2.03.001	Bushing, Ø13.3 x Ø19.3 x 2	2
48	2.03.002	Washer Ø13 x Ø20 x 2.5	2
49	2.08.002	Bolt M8 x 28	2
50	83.200701.04	Handle, Right, Black	1
51	2.02.002	Nut M6, T-Style	2
52	83.200705.01	Handle, Upper, Black	1
53	83.200705.02	Handle, Lower, Black	1
54	1.9074.3.0512.1	Screw/Washer Assembly M5 x 12, Black	3
55	1.5789.0635.1	Flange Bolt M6 x 35, Black	2
56	83.190006.01	Rubber Sleeve, End Cover	1
57	83.190003.01	End Cover, Generator	1
58	83.190001.01	Fan, Generator	1
59	2.02.006	Flange Nut, M14 x 1.5	1
60	83.191100.03	Rotor Assembly	1
61	1.5789.0645	Flange Bolt M6 x 45	4
62	83.191200.38	Stator Assembly	1
63	83.190002.01	End Cover, Mortor	1
64	500263-UA	Engine, 192cc	1
65	1.6177.1.08	Lock Nut M8, Flange	12
66	83.201600.02	Supporter, Left	1
67	83.201600.01	Supporter, Right	1
68	83.201200.01	Motor Mount	4
69	83.200607.01	Plug, Oil Drain Hole	1
70	1.6182.06	Lock Nut M6	6
71	83.200601.01	Base Setting Component	1
72	83.200609.02	Steel Plate 2	2
73	83.200609.01	Steel Plate 1	2
74	83.201400.01	Rubber Pad	2
75	83.201702.03.48	Plug, Wheel, Yellow	2
76	1.894.1.12	Retaining Ring, Ø12	2
77	1.848.12	Washer Ø12	2
78	83.201701.03.48	5.5 in. Wheel, Yellow	2
79	83.201500.01	Axle	1
80	83.200305.01	Spring Patch	5

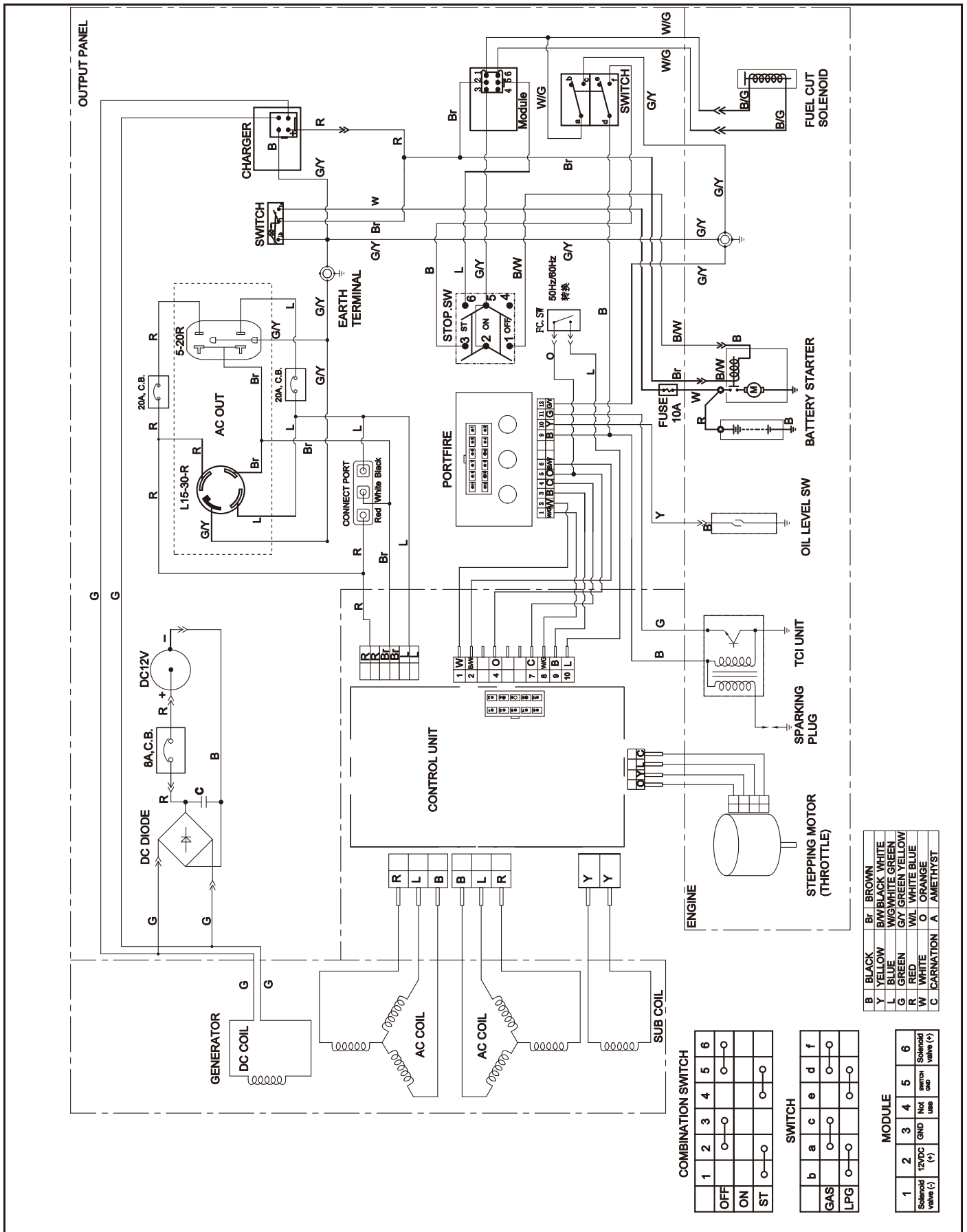
#	Part Number	Description	Qty.
81	83.200304.01	Rubber Seal, Muffler Cover	1
82	1.845.3595	Screw, ST3.5 x 9.5	8
83	83.200303.01	Muffler Cover, Black	1
84	83.200701.01	Handle, Right, Black	1
85	83.200302.01	Cover, Right Side, Black	1
86	2.08.075.1	Bolt M6 x 20, Black	2
87	83.221000.101	Control Unit, Wireless Parallel	1
88	1.16674.0516	Flange Bolt, M5 x 16	1
89	81.220001.00	Protector, Control Unit	2
90	83.200908.01	Fixation Bar, Sponge	1
91	9.1000.070	Battery, 149.5 x 85 x 94, 7AH	1
92	122.200013.04.3	Sheath, Rubber, Red	1
93	122.200904.00	Pinch, Rubber	1
94	122.200013.04	Sheath, Rubber, Black	1
95	5.1900.127	Wire, To SAE Battery	1
96	152.200013.03	Sleeve, Connector	2
97	5.1900.133	Wire, To SAE Motor	1
98	5.1320.032	Plastic Corrugated Pipe, Ø5 x Ø8 x 540	1
99	83.200018.01	Holder, Control Unit and Battery	1
100	5.1320.031	Plastic Corrugated Pipe, Ø5 x Ø8 x 420	1
101	152.200013.02.3	Sheath, Rubber, Red	1
102	1.16674.0512	Flange Bolt M5 x 12	1
103	5.1800.009	Rectifier	1
104	83.130200.01	Pull Choke Assembly	1
105	1.823.0410	Screw M4 x 10	1
106	87.070001.01	Knob, Fuel Valve	1
107	87.070021.01	Quick Coupler	1
108	1.823.0408	Screw M4 x 8	2
109	83.061200.01.2	Guide Plate, Rope, Black	1
110	83.200106.02	Protector, Front Cover	1
111	83.070400.01	Fuel Valve	1
112	2.05.050	Clamp, 100 mm, Wire	1
113	1.97.1.05	Washer Ø5	3
114	1.845.4819	Screw, ST4.8 x 19	2
115	83.070011.02	Fuel Pipe, Fuel Valve To Carburetor	1
116	2.06.023	Clip Ø20	2
117	87.070012.01	Pipe, 280mm	1
118	87.200101.61	Front Cover, Dual Fuel, Black	1
119	500263-J.21	Control Panel Assembly	1
120	5.1110.005	Receptacle, DC 12V	1
121	5.1870.033	Cover, Connect Port, 125V/25A, Black	1

#	Part Number	Description	Qty.
122	5.1870.033.4	Cover, Connect Port, 125V/25A, White	1
123	5.1870.033.3	Cover, Connect Port, 125V/25A, Red	1
124	83.019.66.71	Control Panel, Yellow	1
125	83.210001.01.1	Connect Port, Black	1
126	83.210001.01.4	Connect Port, White	1
127	83.210001.01.3	Connect Port, Red	1
128	5.1280.003	Fuse(10A)	1
129	87.210002.01	Control Box	1
130	122.210003.01	Grommet	1
131	500263-J.21.10	Wire Assembly	1
132	1.9074.4.0512	Screw/Washer Assembly M5 x 12	1
133	1.9074.1.0535	Screw/Washer Assembly M5 x 35	1
134	1.6177.1.04.2	Lock Nut M4, Flange, Black	6
135	5.1120.027	Receptacle 5-20R, Duplex	1
136	5.1120.077	Receptacle L15-30-R	1
137	5.1210.920	20Amp Circuit Breaker, Push Button	1
138	5.1050.013	Switch	1
139	1.9074.4.0306.1	Screw/Washer Assembly M3x6, Black	2
140	1.823.0325	Screw M3 x 25	2
141	5.1050.000	Switch	1
142	1.6170.03	Nut M3	2
143	5.1000.015.3	Ignition Switch, Red	1
144	5.1000.000.3	Switch, Battery, Red	1
145	83.210016.02	Speed Limiter	1
146	1.845.3513	Screw, ST3.5 x 13	1
147	1.845.4816	Screw, ST4.8 x 16	1
148	5.1820.009	Charger	1
149	5.1800.004	Rectifier	1
150	5.1870.020	Receptacle L14-30R	1
151	5.1870.025	Receptacle Cover, 5-20R, Duplex	1
152	1.5783.0520.3	Bolt M5 x 20, Green	1
153	1.862.05	Lock Washer Ø5, Toothed	1
154	1.6170.05.3	Nut M5, Green	2
155	1.93.05.3	Lock Washer Ø5, Green	2
156	1.97.1.05.3	Washer Ø5, Green	2
157	5.1870.014	Circuit Breaker Cover, Push Button	3
158	87.130000.99	LPG Hose With Regulator	1
159	9.1700.008	Plug, USB 5V/2.4A	1
160	9.1700.009	Smart Charger, SAE	1
161	9.1600.012	Cables, 12V, 2m	1

エンジン部品図



配線図



トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
エンジンが始動しない	燃料が入っていない	燃料を充填してください
	スパークプラグの不良	スパークプラグの清掃と調整、または交換
	オイルレベルが低い	クランクケースを適切なレベルまで満たす
		発電機を平らで水平な場所に置く
	スパークプラグワイヤーが緩んでいる	ワイヤーをスパークプラグに取り付ける
	燃料バルブが閉じている	燃料バルブを開く
	エンジンスイッチがオフになっている	エンジンスイッチをオンにする
	燃料が古い、または燃料に水が混入している	燃料を排出し、新しい燃料に交換する
燃料が溢れている	ユニットを10分間放置する	
エンジンは始動するが、運転が荒い	チョークの位置が正しくない	チョークが「RUN」の位置で止まるまで動かすか、または完全に押し込む
	エアフィルタが汚れている	エアフィルタを清掃するか交換する
	燃料バルブが汚れている	燃料バルブを清掃する
	スパークアレスタの詰まり	スパークアレスタを清掃する
運転中にエンジンが停止する	燃料切れ	燃料タンクを満タンにする
	オイルレベルが低い	クランクケースを適切なレベルまで満たす 発電機を平らな場所に置く
		スパークアレスタが詰まっている
発電機が十分な電力を供給できない または過熱している	発電機に過負荷がかかっている	負荷を見直して調整する 「電気負荷の接続」を参照
	エアフィルターが汚れている	エアフィルターを清掃するか交換する
	チョークの位置が正しくない	チョークを「RUN」の位置で止まるまで動かすか、 または完全に押し込む
エンジンは作動しているが AC出力がない	コードの接続不良	すべての接続を点検する
	サーキットブレーカーが開いている	サーキットブレーカーをリセットする
	配線が緩んでいる	配線の接続を点検し、締める
	その他	専門業者に連絡する
エンジンがハンチングする	エンジンガバナーに欠陥がある	技術サポートに連絡する
	燃料バルブが汚れている	燃料バルブを清掃する
	キャブレターが汚れていて、リーン運転になっている	技術サポートに連絡する
	チョークの位置が間違っている	チョークを「RUN」位置で止まるまで動かすか、 または完全に押し込む
デュアル燃料モデルのみ：エンジンが停止しない	プロパンバルブが開いたままになっている	プロパンガスバルブをタンクの閉位置に回す
サーキットブレーカーが繰り返し落ちる	過負荷	負荷を見直して調整する 「電気負荷の接続」を参照
	電源コードまたは装置の不良	ワイヤーが損傷、裸、または擦り切れていないか 点検する。欠陥のある不良デバイスを交換する
	ブレーカーがまだ熱すぎる	装置を5分間放置する